ALINCO

デジタル小電力コミュニティ無線機
（総務省技術基準適合品）
TOKUDER 方式

DJ-PV1D
取扱説明書

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を充分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社

はじめに

このたびは、DJ-PV1Dをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、技術基準適合証明を受けたデジタル小電力コミュニティ無線機です。
本機の性能を十分発揮していただくために本書をよくお読みいただき、末長くご愛用ください。

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、本機に同梱の「ご使用になる前に（簡易取扱説明書）」と本書（PDFファイル）で構成されています。

・「ご使用になる前に」

本機の基本的な操作方法の説明のほか、本機をお使いになる上で必要な安全上、電波法上のご注意を記載しています。

・取扱説明書（本書）

各種機能の詳細や使用方法について説明しています。
印刷物は無く、PDFファイルとして配布されます。

機能と特徴

◎IP54（防塵形と防まつ形）★の性能に対応できるように設計されています。（バッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクターの保護カバー装着時に限る）
◎デジタル無線機の特徴である、FMノイズの少ない通話ができます。
◎位置情報サーチ機能を使うと、登録している相手の位置情報を取得できます。
◎周囲音送信機能を使うと、登録している相手の無線機から自動送信させることで、相手の周囲音を約10秒間受信できます。
★「外郭保護等級IP54について」（P.iii）をご覧ください。

デジタル小電力コミュニティ無線について

◎デジタル小電力コミュニティ無線は、主として人や動物の行動、状態に関する情報の通報やそのための制御をする無線です。動物の行動観察、遭難救助、子供や老人の看視などに使用できるよう、法律で位置情報機能の搭載が義務付けられています。但し、通話の相手方や目的には制限が無いため、日本国内と近海であれば、スカイスポーツのような上空での使用も含めてどなたでも資格、免許不要でお使いになれます。（安全上、電波法上の制限はございます。本書と、製品同梱の説明書の注意書きを良くお読みください。）
◎町内会、学校、会社などでの防災・減災連絡、アウトドアやスカイスポーツなどのレジャーなどに、相手の方位や距離が分かるデジタル小電力コミュニティ無線は大変便利にお使いいただけます。

※ 以降、本書内では「デジタル小電力コミュニティ無線」を「デジコミ（無線）」と省略します。
※ デジコミには屋外での使用に適したＶＨＦ帯の周波数が割り当てられています。屋内では屋外と比べて通話距離が極端に短く感じられることがあります。また、ＧＰＳの電波が受信しずらく、位置情報機能が作動しないことがあります。

付属品

□アンテナ　EA0271 …………………… 1本
□ハンドストラップ……………………… 1本
□ベルトクリップ　EBC-57 …………… 1個
□ACアダプター　EDC-300 …………… 1個
□充電用USBケーブル　EDS-32 ……… 1本
□バッテリーパック　EBP-180………… 1個
□ご使用になる前に（簡易説明書）
□DJ-PV1D用アンテナについて（補足シート）
□保証書

※ ご購入直後に、必ず全てが同梱されていることをお確かめください。欠品しているものがあれば販売店にご連絡ください。

UT-PV1D/GP-PV1Dについて

本機では、弊社ホームページから無償でダウンロードできる下記のソフトウェアをご用意しています。

UT-PV1D：個人やグループの名称を編集できるプログラムです。

GP-PV1D：位置情報を地図上に表示できるプログラムです。

※ 使用方法は、弊社電子事業部ＨＰの「特定小電力無線機」ダウンロードコーナーで配布するソフトと同じ場所で配布する説明書をご覧ください。接続には付属のＵＳＢケーブルＥＤＳ－３２がお使いになれます。

音声圧縮（符号化）方式について

本機の音声圧縮（符号化）方式は、アイコム株式会社が開発したTOKUDER方式を採用しています。TOKUDER方式以外の無線機とは通話できません。

※ TOKUDERはアイコム株式会社の登録商標です。

登録商標/著作権について

はじめに

◎ 本体に同梱の取扱説明書の注意事項も必ずお読みください。

GPSに関する注意事項

GPS(Global Positioning System)は、米国が開発、および運用管理をしています。
同国の政策上、予告なしに測位精度の悪化、GPS衛星の調整、試験、および軌道修正などで、いくつかの衛星信号が停波する場合や、メンテナンスなどで特殊な電波が発信される場合があります。このような場合は誤作動したり、測位精度が著しく悪化したりしますが本機の異常ではありません。

測位精度：
受信衛星の配置や電磁障害、マルチパスなどの影響により、測位精度が著しく悪化した状態(位置飛びなど)が発生する場合があります。

ノイズ：
本機は、ノイズを発生する回路や機器からなるべくはなしてください。GPS信号の周波数帯(1.575GHz付近)や、その整数分の1となる周波数の高調波が、受信や測位に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

本製品をご使用になるうえで、特に注意していただきたい事項を記載しています。必ずお読みください。正しく使わないと製品保証の対象外になったり、トラブルや故障の原因になったりすることがあります。

◎ 本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外へ持ち出して使うと法律や規格の違いから違法となり、現地で罰せられます。
This product is permitted for use only in Japan.
Misuse shall be subject to fine and or penalty.
◎ 付属品、および弊社指定のオプション品以外のものを接続して使用しないでください。故障や動作不良の原因になることがあります。指定以外の製品をお使いになっての不具合は保証期間に関わらず、製品保証の対象外です。他社製品を当社製品に使えるようにする改造サービスは有償、無償にかかわらず行っていません。
◎ 屋外で使用するときは必ずイヤホンやヘッドセットをお使いください。大きな音が迷惑になるばかりでなく、使用者と関係が無い通信音声を第三者に聞かせると、罰せられる可能性があります。
◎ この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約が無い限り、誤動作、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
◎清掃するときは、洗剤や有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、文字が変質したり、塗装がはがれたりします。また機器内部に洗剤などが浸透すると故障の原因になります。
◎ 本体と充電器の接触端子はときどき乾いた綿棒で軽く拭って清掃してください。ほこりや脂汚れは充電や動作の不良原因になります。
◎ 声が届くような近距離で通信すると、強すぎる電波が干渉しあって故障や誤動作、通信不良の原因となります。
◎ 電気・電子機器の近くで使用すると電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。テレビ、インターホン、AV機器、パソコン、電話機などが代表的な製品です。なるべく離してお使いください。
◎ 公共交通機関(乗り物)、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設、病院、介護、研究施設、工場など医療機器や誤動作すると危険な機器のある場所での使用は控えてください。事前に許可を取らないと、使用禁止の無線機と勘違いされてトラブルになる可能性があります。
◎ ペースメーカー、補聴器など医療機器で、携帯電話の使用を制限されるものをお使いの方は本製品の使用を控えてください。
◎ クレジットカード、キャッシュカードなど磁気カード類やフラッシュメモリー類を無線機の近くに置かないでください。データが消える可能性があります。
◎ 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術基準適合から外れたり、盗品や違法無線機とみなされたりします。また製品保証の対象から外れるため、弊社のアフターサービスも受けられなくなります。
◎ 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した時や、湿度が非常に高い場所で使うと内部に水滴が付くことがあります(結露)。濡れた状態で電源を入れると故障の原因となるのでご注意ください。
◎ 電池類は高温や低温環境では一時的に使用できる時間が短くなり、長時間その状態が続くと電池の劣化が進みます。ケースに入れるなどして、常温に近づけてお使いください。
◎ 名前登録などのプライバシーを保護するため、廃棄するときは後述のリセットをしてから家電ゴミとして自治体で定める方法にて処分してください。電池は回収ボックスを利用するなどリサイクルにご協力願います。
◎ ０℃～４０℃以外の環境では使用しないでください。記載の温度範囲外で使うと動作不良や故障の原因になります。
◎ 無線機を長期間使用しないときは、必ず電源を切ってください。切り忘れると電池を消費します。そのまま長期間放置していると電池の液漏れの原因になります。

自動車運転時のご注意

◎ 運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示を見つづける行為)することは法律で禁じられています。
◎ 無線機を操作、または表示部を注視するときは、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。違反すると運転中の携帯電話の使用と同様、罰せられます。
◎ 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。一部の自治体では、運転中にイヤホンやヘッドホンを使用することが規制されています。
◎ 無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。イヤホンマイクやアンテナがシートベルトにからみついたり、エアバッグなどの安全装置が作動した時の妨害になったりします。

電波法上のご注意

◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。
◎ 本製品はアンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けています。このため接続できるアンテナも、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた市販のものに限定されます。同梱の「DJ-PV1D用アンテナについて」をご参照ください。技適を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられます。この規格の無線機に2.14dBiを超える利得のアンテナを接続することは認められていません。
◎ 以下のような行為は電波法に違反して罰せられます。
・他人の通信を妨害する
・他人の通話内容を無断で漏らしたり、その情報を利用する
・嘘の情報を流す
・公序良俗に反する内容の通話をする
防災訓練で「火事です」のような通話をする時は「訓練、火事です、訓練終わり」のように話すことが電波法で義務付けられています。
◎ 本製品は、電波法施行規則第6条第4項第2号(13)で定める、人・動物検知通報システムであり、位置情報の取得および通報の機能が義務付けられている特定小電力無線局です。野生動物の行動を監視する無線システムと同じ周波数を使用していますので、サル、シカ、クマ、イノシシなど監視対象動物が出没するような場所では必要最小限の通話を心掛けてください。
◎ 遭難救助、災害時の非常通信にも使われます。このような通話が聞こえたら、レジャーやホビーの通話は控えてください。

はじめに

外郭保護について

バッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクターの保護カバーを正しく取り付けた状態で、IP54の防塵/防水性能があります。下記のような使い方をすると外郭保護はできず、製品保証の対象外となります。

- 真水以外の液体(海水、洗剤、溶剤等)や砂、泥等の汚れが無線機に付着したまま放置したとき
- 雨の中、濡れたり砂や粉じんなどで汚れた手でバッテリーカバーやアンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックや [USB] コネクターの保護カバーを取り付けたり、はずしたりしたとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体に劣化が生じたとき
- 高い水圧、風圧、湯を掛けたとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- －10℃～＋50℃以外の環境で使用したとき(実用温度は0℃～＋40℃、充電推奨温度は10℃～35℃です。)
- 工場内、鉱泉の噴出場所など薬品を含んだ蒸気が発散しているところや、薬品に触れる恐れがあるところに放置したとき
- 本機を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクターの保護カバーのすきまに微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による外郭保護について

◎前項に記載した標準付属品以外の別売品を使用したときは、IP54の外郭保護は失われます。
例：弊社純正品を含むイヤホンマイク類

◎指定以外のアクセサリーの使用も弊社の製品保証の対象外で、外郭保護性能も保証できません。

本製品の使用温度範囲について

本製品の使用可能温度範囲は-10～+50℃ですが、
低温時、高温時は電池の劣化を防ぐためポケット
に入れるなど常温に近づけてください。
充電可能温度範囲は0～40℃です。これ以外の温度
では充電できないことがあります。
リチウムイオン電池は高温下では最悪の場合、発火の
可能性があります。炎天下の車内、直射日光の当たる
窓辺などには絶対に放置しないでください。

外郭保護等級IP54について

- IP5Xは、ベビーパウダー状の粉を1立方メートル当たり2kgの濃度で浮遊させた試験器内に8時間放置して、「完全な防塵ではないが、異物が入っても所定の動作と安定性が保て、直ちに故障しない」ことを確かめる規格です。
- IPX4は、全方向からの真水の飛沫を浴びても内部に水が入らないか、入っても当面実用上問題無く使える防沫性能を検証するため、毎分10リットルの水を全方向から最低5分間散水して耐性を確かめる規格です。

IP54は耐塵、防浸規格ではありません。生活防水に近いもので、水に濡れた手でつかんだり、ほこりっぽい場所で保護ケースなどに入れずに使ったりしてもすぐには故障しない事を想定したグレードです。濡れたり汚れたりしたときは、すぐに水分や汚れを落としてください。端子のカバー類はしっかり閉じているか、ときどき点検してください。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター回路内蔵の電子機器の例】

◎LED照明器具　◎電磁調理器　◎給湯器　◎太陽光発電装置　◎自動車に搭載された電子機器

チャンネルについて

デジタル小電力コミュニティ無線にはVHF帯に全部で18のチャンネルが割り当てられています。

◎CH01～CH17　：通話用チャンネル
自由に空いているチャンネルを使って通話できます。

◎CH18(呼出CH)　：呼出用チャンネル
呼び出しチャンネルは一時的な呼び出しをするときだけに使用します。グループ通話などの選択通信は設定できず、誰とでも通話ができます。普通の通話に「呼出CH」は使わないでください。

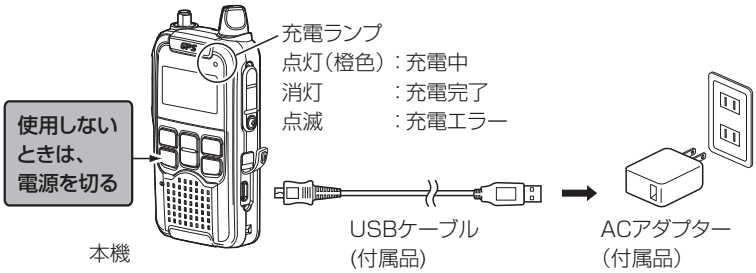
【呼出CHでの通話例】
・通話に使える空きチャンネルの番号を連絡する
・「Aさん、こちらに来てください。」「了解しました、すぐ行きます。」程度の簡単な呼び出し
・緊急時に助けを呼ぶ
・ホビーユーザーが不特定の交信相手を探す呼び出し

ご使用になる前に

■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してからお使いください。

※電源を入れたまま充電すると、充電が完了するまでの時間が長くなります。

※充電ランプが点滅した場合は、充電エラーです。充電可能温度範囲を超えたり、バッテリーが古かったり、充電器の異常が原因です。

【参考】

◎ **満充電時は充電できません。充電ランプも点灯しません。** バッテリーパックの過充電や消耗を防ぐためです。バッテリーを消費してから充電してみてください。

【危険】

◎ 充電するときは、必ず本機に対応する純正品の充電器をご使用ください。

◎ 別紙「簡易取扱説明書」の「安全上のご注意」を併せてお読みになり、正しく充電してください。

◎ 充電エラーが続く時は、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

◎ 充電可能温度範囲は0～40℃です。低温では充電できず、高温では最悪の場合、発火の原因となります。

■ 充電時間と運用時間の目安

充電時間　約4時間30分（EDC-300 ACアダプターを使用時）

※バッテリーパックが空の状態から満充電になるまでの時間です。継ぎ足し充電時はもっと短い時間で充電できることがあります。

運用時間の目安

設定条件	付属バッテリーパック（EBP-180）
バッテリーセーブON★1	約11時間
バッテリーセーブOFF★2	約9時間
弊社規定の条件で、送信1、受信1、待ち受け受信18の割合にて測定	

★ 1 設定条件：
バッテリーセーブ　[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「バッテリーセーブ」（ON）
GPS のバッテリーセーブ　[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「GPS 設定」＞「バッテリーセーブ時間」（オート）
[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「GPS 設定」＞「未測位経過時間」（5 分）

★ 2 設定条件：
バッテリーセーブ　[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「バッテリーセーブ」（OFF）
GPS のバッテリーセーブ　[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「GPS 設定」＞「バッテリーセーブ時間」（OFF）（GPS 常時 ON）
[メニュー / 🔑] ＞「設定」＞「GPS 設定」＞「未測位経過時間」（OFF）（GPS 常時 ON）

※使用条件（音量設定、送信の頻度や長さ、周辺温度、バッテリーセーブ設定値など）により、使用時間が大きく異なることがあります。

※モバイルバッテリー、パソコン、市販のＵＳＢ式ＡＣアダプターなどで充電して発生した、いかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねます。弊社純正の付属品ACアダプターにはALINCOのロゴが印字されています。

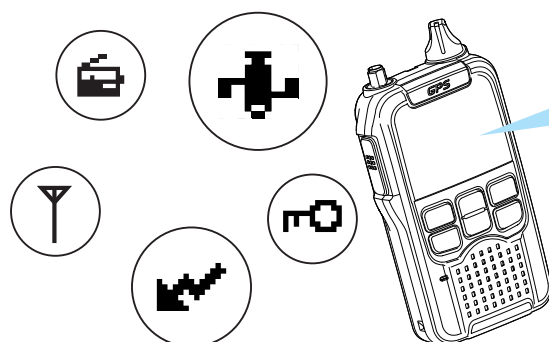
【参考】

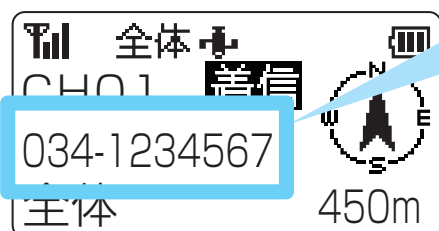
推奨の設定：

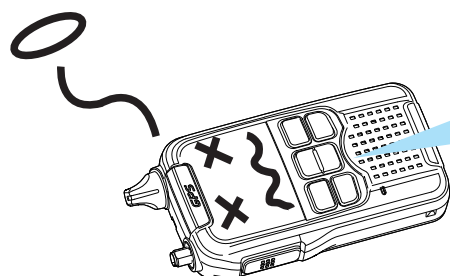
屋内など、GPSをあまり使わない場所で、バッテリー消費を抑えたいときは上記★1の 設定

屋外で、積極的にGPSを活用したい場合は上記★2の 設定

※バッテリーセーブ設定の詳細については7-4ページ、7-5ページをご覧ください。

よくあるご質問

このアイコンの意味は？

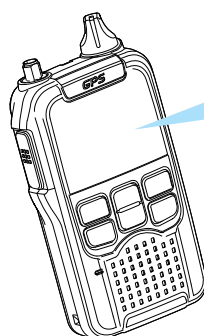
➡ 1-2ページへ

受信したけど
この番号って何？

➡ 2-1ページ、3-5ページへ

電池の消耗を抑えたいときは？

➡ ivページへ

明るさを変えたい…

操作音を消したい…

リセットしたい…

今の設定を変えたいときは？

➡ 7-1ページ、7-2ページへ

もくじ

はじめに ── i

取扱説明書の構成について…… i
機能と特徴…… i
デジタル小電力コミュニティ無線について…… i
付属品…… i
UT-PV1D/GP-PV1Dについて…… i
音声圧縮(符号化)方式について…… i
登録商標/著作権について…… i
GPSに関する注意事項…… ii
取り扱い上のご注意…… ii
自動車運転時のご注意…… ii
電波法上のご注意…… ii
外郭保護について…… iii
別売品の使用による外郭保護について…… iii
本製品の使用温度範囲について…… iii
外郭保護等級IP54について…… iii
電磁ノイズについて…… iii
チャンネルについて…… iii

ご使用になる前に ── iv

■ 充電のしかた…… iv
■ 充電時間と運用時間の目安…… iv

1. 各部の名称と機能 ── 1-1

■ 前面部/側面部…… 1-1
■ 表示部…… 1-2

2. 通話方法 ── 2-1

■ 基本的な通話のしかた…… 2-1
■ 通話距離の目安…… 2-2
■ 送信時間制限について…… 2-2
■ キャリアセンスについて…… 2-2

3. 宛先設定 ── 3-1

■ 呼び出し方法の種類…… 3-1
■ 待ち受けの状態と通話の可否について…… 3-1
■ 全体呼び出し…… 3-2
■ グループ呼び出し…… 3-3
■ 個人呼び出し…… 3-4
■ 機器IDの登録…… 3-5

4. 位置情報検索 ── 4-1

■ 検索の種類について…… 4-1
■ 自分の位置情報を確認する…… 4-1
■ 位置情報サーチ…… 4-2
■ 周囲音送信…… 4-3

5. 緊急呼び出し ── 5-1

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)…… 5-1

6.FM ラジオの受信 ── 6-1

■ ラジオ機能…… 6-1
■ 放送局リスト…… 6-1
■ スキャン選局…… 6-2
■ 手動選局…… 6-2
■ 登録した放送局の削除…… 6-3
■ 地域選択…… 6-3
■ アンテナ選択…… 6-3

7. メニュー ── 7-1

■ 設定項目一覧…… 7-1
■ 設定方法…… 7-2
■ 設定項目の内容…… 7-2

8. オプションアクセサリー ── 8-1

■ 付属品のスペア…… 8-1
■ イヤホンマイク…… 8-1
■ ベルトクリップ…… 8-1
■ イヤホンマイクを接続するには…… 8-2
■ 回転式ベルトクリップの取り付け、取り外し…… 8-2

9. お手入れとアフターサービス ── 9-1

■ 日常の保守と点検について…… 9-1
■ アフターサービスについて…… 9-1
■ 初期状態に戻す(リセットする)には…… 9-2
■ 故障かな?と思ったら…… 9-3

10.USB ドライバーのインストール 10-1

■ インストールについて…… 10-1

11. 定格 ── 11-1

■ 無線機本体…… 11-1
■ EBP-180 バッテリーパック(付属品)…… 11-1
■ EDC-300 ACアダプター
EDS-32 USBケーブル(付属品)…… 11-1

1

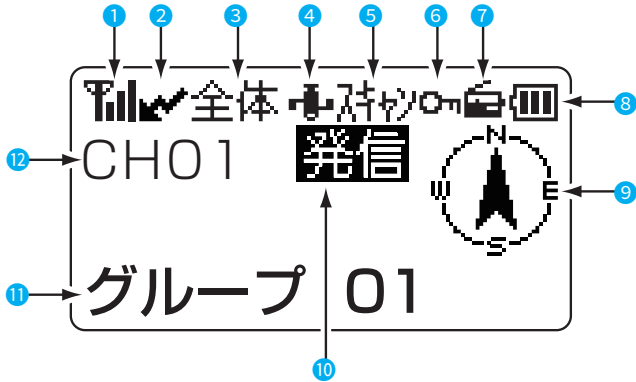
各部の名称と機能

■ 前面部/側面部

【キー(ボタン)操作について】
本書中、「押す」は一度短くしっかりキーを押してからすぐにはなすこと、「長く押す」「長押し」は説明の状態になるまで記載された時間、キーを押したままにすることを言います。メニュー画面で操作中に「FM/電源」キーを押すと操作をキャンセルして通話モードに戻ります。

❶	**アンテナ**	
	無線機側のコネクターはSMA-Jです。(アンテナ側はSMA-P)　技適品以外、接続しないでください。	
❷	**[PTT](送信)スイッチ**	
	押しているあいだは送信、はなすと待ち受け・受信状態に切り替わります。	
❸	**[呼出CH/緊急]キー**	
	待ち受け画面	❍押すと、呼び出しチャンネルに切り替わります。(P.2-2) ❍長く(約5秒)押すと、緊急呼び出し(エマージェンシー)モードに切り替わります。(P.5-1)
	メニュー画面	❍押すと、選択前の画面に戻ります。(P.7-2)
❹	**[FM/電源]キー**	
	待ち受け画面	❍ラジオ機能がONのときに押すと、FMラジオ受信を「ON」/「OFF」します。(P.6-1) ❍長く(約3秒)押すと、電源を「ON」/「OFF」(入れる、切る)します。
	メニュー画面	❍押すと、待ち受け画面に戻ります。
❺	**音量ツマミ**	
	音量調整するときに回します。時計方向に回すと大きくなります。	
❻	**充電ランプ**	
	充電しているあいだは橙色に点灯して、完了すると消灯します。	

❼	**[マイク/イヤホン]ジャック**	
	別売品のマイクを接続するときは、保護カバーをはずして接続してください。 ※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。カバーが外れていると外郭保護は無効になります。 ※弊社純正、又は推奨するアクセサリー以外を接続すると製品保証の対象外になります。	
❽	**[▼]/[▲]キー**	
	待ち受け画面	チャンネルの変更をします。
	メニュー画面	設定値の切り替えをします。
❾	**[メニュー/⊶]キー**	
	待ち受け画面	❍押すと、メニュー画面に切り替わります。 ❍長く(約1秒)押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」できます。
	メニュー画面	設定項目を決定します。
❿	**[サーチ/登録]キー**	
	❍押すと、サーチメニュー画面に切り替わります。 ❍長く(約1秒)押すと、宛先登録/削除画面が表示されます。	
⓫	**[USB]コネクター(microUSB Bタイプ)**	
	付属のACアダプター(EDC-300)を接続して充電するコネクターです。(P.iv) 付属のUSBケーブル(EDS-32 A-microBタイプ)で本機とパソコンを接続できます。(P.10-1)	

■ 表示部

※説明のための表示例です。
実際の画面とは異なります。

❶	受信している電波の強さ（目安）を4段階で表示 無★ 弱 中 強 ★ 待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。	P.2-1
❷	送受信表示（受信時：、送信時：）	—
❸	呼び出しの種類 全体 全体呼び出し ｸﾞﾙｰﾌﾟ グループ呼び出し 個人 個人呼び出し	P.3-1
❹	位置情報取得	P.2-1
	（点滅） 位置情報未取得	—
	表示なし GPSバッテリーセーブ中	P.7-4
❺	呼び出しチャンネルスキャン機能設定時	P.7-4
❻	ロック機能動作時	P.2-2
❼	FMラジオ ON時	P.6-1
❽	電池の残量（目安）を4段階で表示 十分 残量あり 残量少（早めに充電） 点滅 残量なし（要充電）	—
	USB給電時 ※バッテリーパック未装着時	—
	USB給電/充電時 ※バッテリーパック使用時 ※充電器使用時も表示	—
	充電時での充電障害発生時	—
❾	コンパス表示（相手の方向）	P.2-1
❿	発信 送信時に点灯	P.2-1
	着信 着信時に点滅	P.2-1
	緊急 緊急呼び出し時に点灯	P.5-2
	応答 緊急呼び出しで応答があると点灯	P.5-2

⓫	宛先表示 ※UT-PV1Dで個人名やグループ名を設定している場合は、その名称が表示	P.3-1
⓬	チャンネル表示 ※呼び出しCH設定時は、「呼出CH」が表示	P.2-1

【ご注意】
消費電流軽減のためバッテリー残量に応じた段階的な音量制限を設けています。この制限は解除できません。減電池警告の一つとご理解ください。

バッテリーパック残量に応じた音量制限

表示	備考	最大音量
(4段階)	—	32
(3段階)	—	32
(2段階)	—	27
点滅	電池マークが点滅し、30秒おきにローバッテリービープが鳴動します。	24

※電源がOFFとなるとき、「電源 OFF」表示しながら警告音が鳴り、2秒後に電源がOFFとなります。

【ご注意】
バッテリーパック未装着でUSB給電時に送信制限と音量制限を設けています。この制限は解除できません。

バッテリーパック未装着でUSB給電時の制限

表示	備考	送信制限	最大音量
(USB給電)	画面に「電池を装着してください」と表示	送信不可	0

※付属のACアダプター（EDC-300）による給電時は送信制限と音量制限はありません。
パソコンのUSB端子、電流量の少ないUSBアダプター等での給電時にかかる制限です。

2 通話方法

■ 基本的な通話のしかた

基本的な通話方法について、説明します。

1 通話チャンネルを合わせる

[FM/電源]キーを長押しして、電源を入れます。
[▼]/[▲]を押して、通話相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※選択範囲：01～17、呼出CH
※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。
　一巡すると、「ピッ」と鳴ります。

通話チャンネル

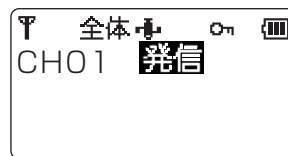
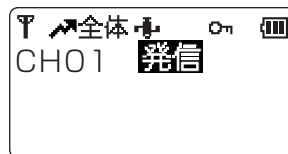
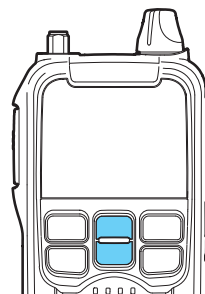
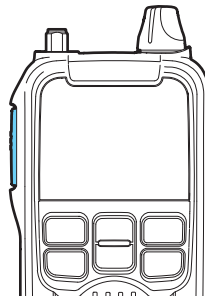
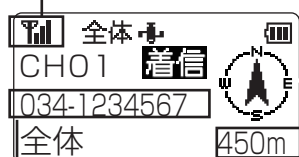
2 送信する

「✔」が表示されていないことを確認し、[PTT]を押して「ピッ」と鳴ったらマイクに向かって話します。話している間は[PTT]を押したままにします。
例:「ＯＸハイキングクラブのメンバー、聞こえますか？」
呼びかけが終わったら、すぐに[PTT]をはなします。
• 押しているあいだは、「発信」が表示されます。
※この無線の規格により、連続送信状態が1分を超えると自動的に送信を切ります。受信状態になった後、他のユーザーがだれも通話しなければ、2秒経つと再度送信できます。イヤホンマイクをＰＴＴロックしていれば、自動的に送信します。
※音楽やチャイムを送信しても、正しいメロディにはなりませんが、異常ではありません。
※他の人が通話しているときは送信できません。

送信中

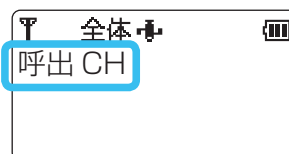
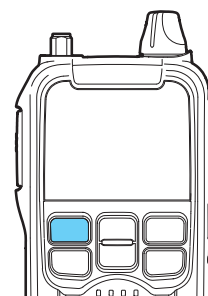
マイクに向かって話すときは、口元から5cmほどはなし、普通の大きさの声で通話してください。 マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したり、小声すぎたりすると、相手が受信する音質が悪くなります。

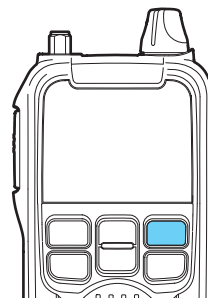
3 呼び出しを受けて応答する

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ（目安）が4段階で表示されます。
※受信中は、呼び出しの種類（全体/グループ/個人）、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押して、ピッ音が鳴り終わってから話します。
　例「はい、メンバーはみんな登山道入り口にいます。」
※この無線機が採用するデジタル通信方式の原理上の理由により、送信側で話した声が受信側から聞こえるまでに僅かなディレイ（時間差）が生じますが、異常や故障ではありません。

受信中

呼び出し用チャンネルについて：

呼出用チャンネル表示

「呼出CH」で送信すると、呼出CHになっているか、呼び出しチャンネルスキャンがONに設定されていて、電波が届くところにあるすべてのデジコミ無線機で受信されます。自分の通話したい相手以外にも受信されます。
前述のように呼出CHは、通話したい相手に通話チャンネルを伝える、「Ａさん、こっちに来てください」程度の簡単な呼び出し、緊急時に誰でもよいので通話したいなど一時的な呼び出しだけにお使いください。ここでの通話は他のユーザーの迷惑となります。
例「ＯＸハイキングクラブのメンバーは全員13CHに移ってください。」
※[呼出CH/緊急]を押すごとに、呼出CHと通話チャンネルを切り替えられます。
メニュー画面の「呼出CHスキャン」項目をONに設定すると、別のチャンネルを表示していても「呼出CH」に着信があると、「呼出CH」からの音声を優先して受信します。呼び出しチャンネルの通話が終わると約５秒後に通話チャンネルに戻ります。
[メニュー/🔑]＞「設定」＞「呼出CHスキャン」(P.7-4)

ロック機能表示

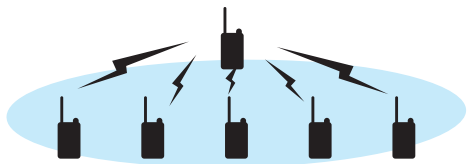
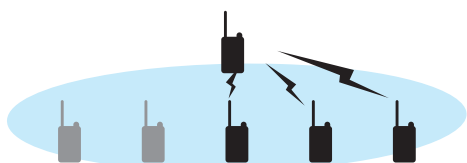
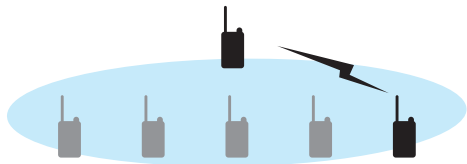
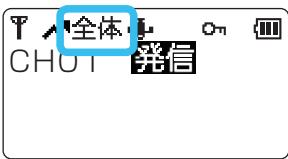
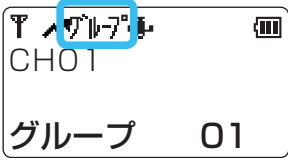
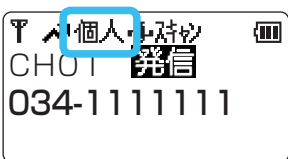
ロック機能：
キー動作を制限して、誤動作を防ぎます。通話できる状態にしたら、ロックしておくことをお勧めします。
[メニュー/🔑]を長く(約1秒)押すと、「ピッ」と鳴って、「🔑」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※[PTT]、音量ツマミ、[FM/電源](電源ON/OFF)は、ロックが掛かりません。

■ 通話距離の目安(送信出力　0.5W)

◎通話距離は地形、建造物の有無、外部アンテナの使用など、条件によって大きく変わります。車載するときは別売のアンテナメーカー製車載アンテナを使うと通話距離が延びます。
　市街地：約200～500m、郊外：約1～2km、広い河川敷や山頂とふもとなど、見通しの良い場所：約2km以上
◎周囲の地形や建造物、大雨など天候の状況により、通話しにくくなることがあります。逆に山頂、ビルの屋上など高く開けた場所では思わぬ遠くの通話が聞こえることがあります。通話の妨げになる時は、場所を変えてください。
◎テレビ、ラジオ、その他家電製品、パソコン、コピーなどＯＡ機器、レジのキャッシャー、電話機などのすぐ近くで使用すると、お互いが悪影響を受ける可能性があります。(例：ノイズ、誤動作、画面の乱れなど)
　使用前に異常が起きないか、確かめてからお使いください。

■ 送信時間制限(タイムアウトとタイマー)について

限りあるチャンネルをシェアして有効利用するため、1回の送信で連続して通話できる時間は、「1分以内」と電波法で定められています。残り３０秒前からタイマー表示が出て、制限時間の10秒前になると、「ピーッ」と鳴ります。1分経過すると「ブブブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。停止してから2秒間は送信できません。2秒たつと[PTT]を押して送信できます。オプションのイヤホンマイクのPTTロックを掛けていれば、自動的に再送信します。

■ キャリアセンスについて

同じ通話チャンネルで自分勝手に送信できるとお互いに妨害し合って通話ができなくなります。この混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を受信している間は通話中とみなして送信できないよう、自動的に制御する機能をキャリアセンス(キャリセン)といい、法律で搭載が義務付けられています。キャリアセンスは、本機が送信を開始するときに動作します。3秒以上通話が途切れた場合は通話を終了したと判断して、キャリアセンスは停止します。(次の送信開始時から新たに動作します。)
ほかの電子機器や無線機からの電磁波を受信した場合でもキャリアセンスが動作することがありますが、電波障害であって故障ではありません。場所や時間を変えて通話してください。
ほかの人を通話に加わりやすくするためにも、ときどき相手の送信が終わっても敢えて３秒ほど返信しない「ブレークタイム」を取るとスムーズに通話できます。

3　宛先設定

■ 呼び出し方法の種類

本機の呼び出し(と通話)には、次の3種類の方法があります。

呼び出しの種類	概要	イメージ図　:通信できる　:通信できない
全体呼び出し	通話チャンネルが同じ相手を一斉に呼び出します。(P.3-2) ※　グループ設定された無線機も番号にかかわらず通話できます。 ※　個人設定の無線機は機器IDが合わないと通話できません。	
グループ呼び出し	通話チャンネルとグループ番号が同じ相手を呼び出します。(P.3-3) ※　「全体」設定した無線機はグループ設定した無線機と、グループ番号に関係なく通話できます。 ※　異なるグループ番号に設定した無線機とは通話できません。	
個人呼び出し	同じ通話チャンネルにいる、特定の機器IDの無線機だけを呼び出します。(P.3-4) • 自分の機器IDの確認(P.3-5) • 相手の機器IDの登録(P.3-5) • 登録した機器IDの削除(P.3-6)	

■ 待ち受けの状態と通話の可否について

待ち受け画面の宛先設定状態によって受信できる呼び出しが異なりますので、下表でご確認ください。

待ち受け画面の宛先設定状態	相手からの呼び出しの種類	通話できる○ / 通話できない×
全体　CH01　発信	全体呼び出し	○
	グループ呼び出し	○
	個人呼び出し	×/自分の機器IDで呼ばれたら○
グループ　CH01　グループ　01	全体呼び出し	○/後述の設定項目で変更したら×
	グループ呼び出し	全体、又は自分のグループ番号で呼ばれたら○
	個人呼び出し	×/自分の機器IDで呼ばれたら○
個人　スキャン　CH01　発信　034-1111111	全体呼び出し	×
	グループ呼び出し	×
	個人呼び出し	×/自分の機器IDで呼ばれたら○

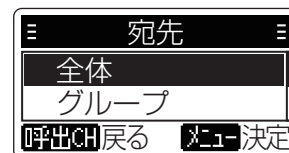
※ 自分の待ち受け画面がどの宛先でも、自分の機器IDで個人呼び出しされると[PTT]を押すだけで、そのまま呼ばれた相手と個人通話できます。相手に応答して以降、5秒間個人通話をしなければ、自分が設定している宛先に自動的に戻ります。

項目選択操作の説明省略について
本書では、繰り返し出てくる同じ操作の説明を下記のように省略しています。
例：「宛先」を選択する。
・**実際の操作：** [メニュー/O┳]キーで「宛先」メニューを選択、[▼]/[▲]を押して全体、グループ、個人のいずれかを選択し、[メニュー/O┳]を押して決定する。反映しないで戻る時は[呼出/緊急]キーか「FM/電源」キーを押す。

■ 全体呼び出し

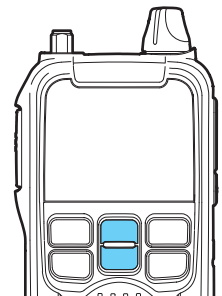
通話チャンネルが同じ相手を一斉に呼び出します。トランシーバーの基本の設定で、だれとでも通話できます。

1 宛先を「全体」に設定する

1. [メニュー/O┳]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「全体」を選択する
   • 「全体」が表示されます。

メニュー画面
（全体選択）

2 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※設定できる通話チャンネル番号は「01～17、呼出CH」です。
※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。一巡すると、「ピッ」と鳴ります。

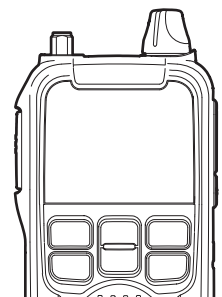
通話チャンネル

3 呼び出しをする（送信する）

[PTT]を押し、そのまま話して、相手に呼びかけます。
• 通話中はPTTを押し続けます。「発信」が表示されます。

送信中

4 呼び出しを受ける（受信する）

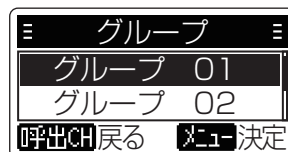
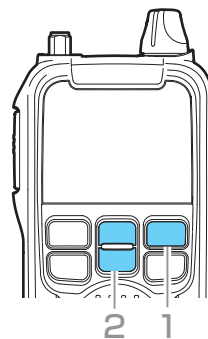
信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ（目安）が4段階、またはＳメーターで表示されます。
※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、条件を満たせば送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。

受信中

■ グループ呼び出し

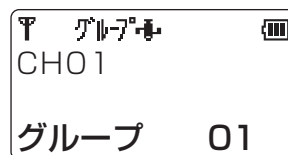
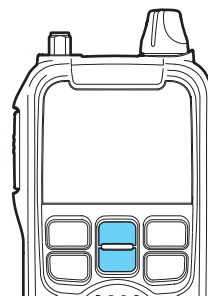
通話チャンネルとグループ番号が同じすべての相手を呼び出します。「全体」設定の相手にも呼び出しと通話ができます。後述の７章「メニュー」で「設定」の「グループ時全体着信」設定を変更すると「全体」の呼び出しを受信しなくなります。他人の全体呼び出しによる混信を避けたいときに使います。

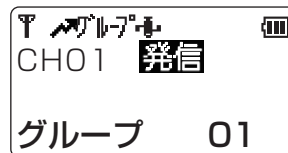
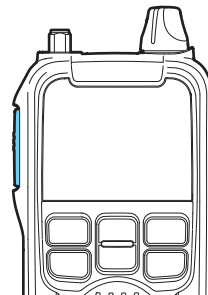
1 グループを設定する

1. [メニュー/O┳]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「グループ」を選択する
4. 同じグループになる無線機全てに同じグループ番号を割り当てる。
5. 「グループ」とグループ番号が表示される。
   ※設定できるグループ番号は、「01～63」です。

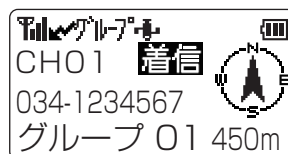
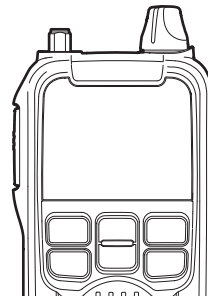
メニュー画面
（グループ選択）

グループ選択表示
（例：グループ　01選択）

2 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、通話したいグループと同じ通話チャンネルに合わせます。
※通話用チャンネルの番号は、「01～17」です。
※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。一巡すると、「ピッ」と鳴ります。

通話チャンネル表示

3 呼び出しをする（送信する）

[PTT]を押したまま、相手に呼びかけます。
• 「発信」が表示されます。

送信中

4 呼び出しを受ける（受信する）

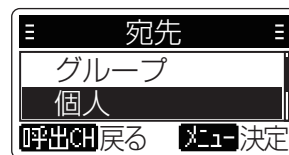
信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ（目安）が4段階、またはSメーターで表示されます。
※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、条件がそろえば送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。

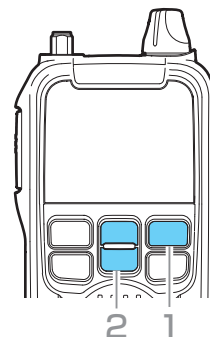
受信中

■ 個人呼び出し

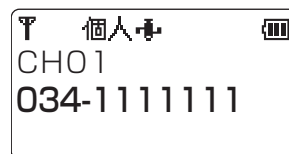
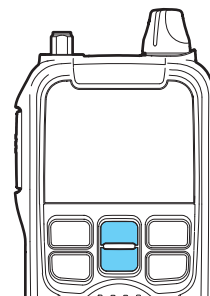
呼び出す相手の機器IDを指定して呼び出します。
※個人呼び出しをするには事前に相手の機器IDを登録している必要があります。（相手の機器IDの登録　P.3-5）
※プログラミングソフトウェアUT-PV1Dで、機器IDの代わりに任意の名前を表示させることができます。
　詳しくは、プログラミングソフトの説明書をお読みください。

1　個人を設定する

1. [メニュー/O-]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「個人」を選択する
4. 相手の機器IDを選択する
   - 相手の機器IDが表示されます。

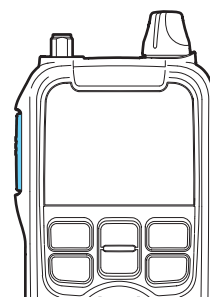
※相手の機器IDの登録（P.3-5）

メニュー画面
（個人選択）

相手の機器ID選択

2　通話チャンネルを合わせる

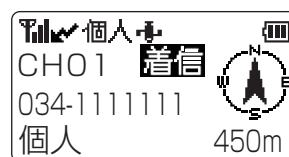
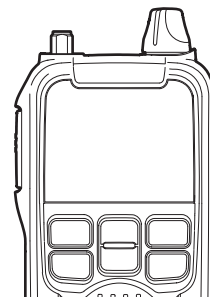
[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
※設定できる通話チャンネル番号は、「01～17」です。
※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。
　一巡すると、「ピッ」と鳴ります。

通話チャンネル

3　呼び出しをする（送信する）

[PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。
- 「発信」が表示されます。

※話している間は[PTT]を押したままにします。

送信中

4　呼び出しを受ける（受信する）

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ（目安）が4段階、またはSメーターで表示されます。
※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、条件がそろえば送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。
※他の人には通話は聞こえず、同じチャンネルで送信すると「話し中です」と表示されます。

受信中

【ご注意】
デジコミ無線の特徴である救難や監視のため、以下の操作をすると他人の機器IDを許可なく登録できるようになっています。このため、「メニュー」設定項目(P-7.1)の位置サーチ応答を「全IDに応答」に変更すると第三者に自分の現在の居場所を知られてしまう可能性があります。意図的に「全ID」に設定を切り替えられたときは、プライバシー(自分の位置情報)の漏えいに十分ご注意ください。

■ 機器IDの登録

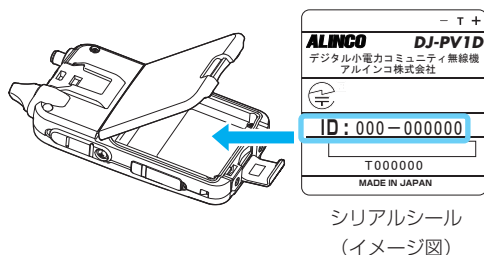
◇自分の機器IDの確認

無線機1台ずつに機器IDが割り当てられています。変更したり、削除することはできません。

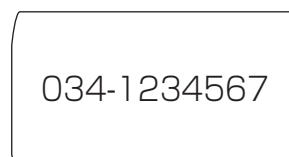
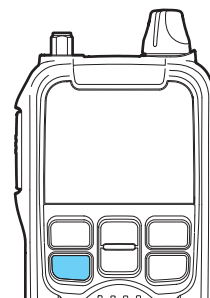
[FM/電源]を長押し(約1秒)して電源を入れる

- 「ＡＬＩＮＣＯ」が表示されたあと機器IDが表示され、その後待ち受け画面が表示されます。

※無線機本体裏の銘板にも機器IDが記載されています。

シリアルシール
(イメージ図)

オープニング画面

機器ID表示

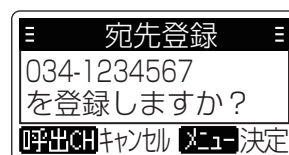
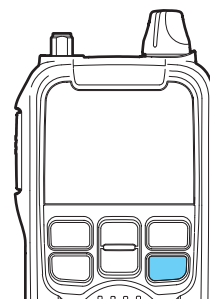
※ＵＴ－ＰＶ１Ｄを使って名前を付けた場合は、その名前が機器IDの代わりに表示されます。全角6文字(半角12文字)の任意の名前や数字、記号を登録できます。

◇相手の機器IDの登録

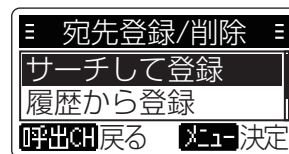
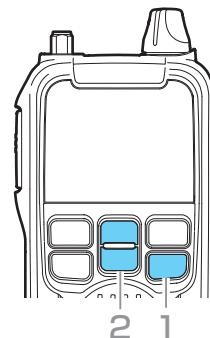
機器IDの登録の方法は、「受信時登録」、「サーチして登録」(P.3-6)、「履歴から登録」(P.3-6)の3種類あります。
いずれも「宛先」項目の「個人」に追加登録されます。([メニュー/O-ₙ] ＞「宛先」＞「個人」)
最大30件まで登録できます。

「受信時登録」する場合

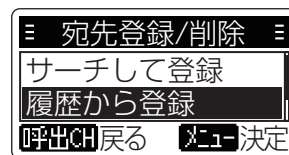
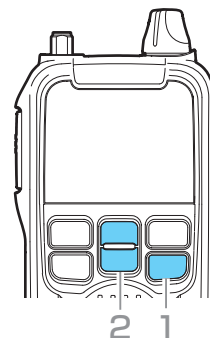
1. 受信時、画面下に相手の機器IDが表示されるのを確認する。
2. 受信終了後[サーチ/登録]を約1秒、長押しする。
3. 「XXX-XXXXXXXを登録しますか？」が表示されたら、[メニュー/O-ₙ]を押す。
   ※すでに登録されている機器IDを登録しようとすると、「この宛先は既に登録されています」が表示されます。
4. 登録場所を選択する
   - 「XXX-XXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。

   ※上書きもできます。

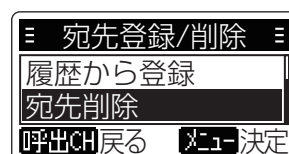
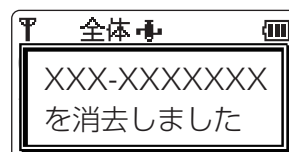
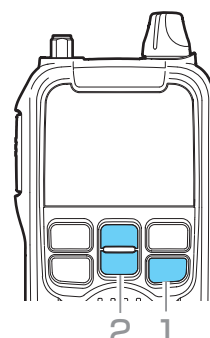
受信中

登録確認画面

「サーチして登録」する場合

1. [サーチ/登録]を約1秒、長押しして、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「サーチして登録」を選択する
   • 「サーチ信号を送出しました」が表示されます。
   • 応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
3. 「XXX-XXXXXXXを登録しますか？」が表示されたら、[メニュー/🔑]を押す
   ※すでに登録されている機器IDは、表示しません。
   • 「ID登録場所」が表示されます。
4. 「(未登録)」を選択する
   • 「XXX-XXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。

宛先登録/削除画面
（サーチして登録選択）

登録確認画面

「履歴から登録」する場合

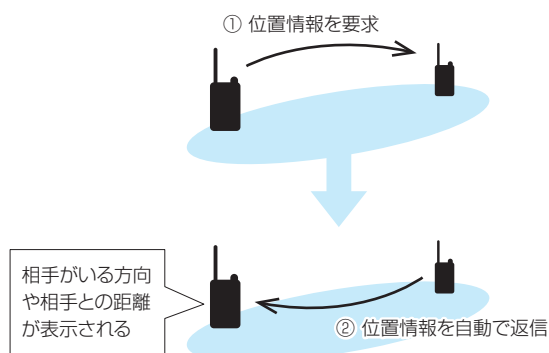
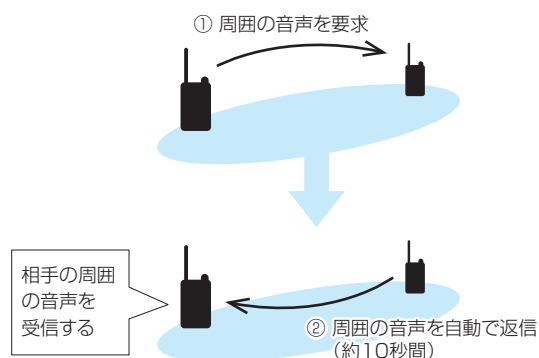
1. [サーチ/登録]を約1秒、長押しして、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「履歴から登録」を選択する
   • 受信した未登録の機器IDが一覧表示されます。
   ※履歴の状況によっては、同じ機器IDが複数表示されることがあります。
3. 登録したい機器IDを選択する
   • 「ID登録場所」が表示されます。
4. 「(未登録)」を選択する
   • 「XXX-XXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。

宛先登録/削除画面
（履歴から登録選択）

機器ID選択表示

◇登録した機器IDの削除

1. [サーチ/登録]を約1秒、長押しして、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「宛先削除」を選択する
   • 登録している機器ID一覧が表示されます。
3. 削除したい機器IDを選択する
   • 「XXX-XXXXXXXを消去しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」から削除されます。
   ※再度同じ操作をし、(未登録)を選択すると、削除した機器IDに戻すことができます。

宛先削除選択

4 位置情報検索

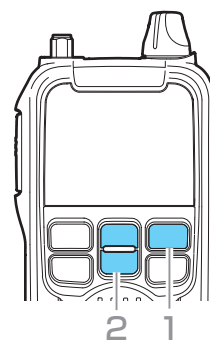
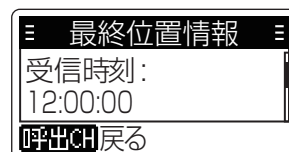
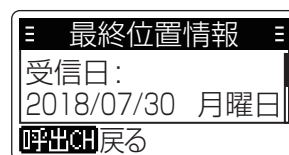
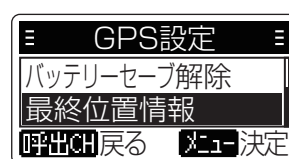
■ 検索の種類について

※相手の機器IDをあらかじめ登録していれば、GPSを使って相手の位置情報を検索したり（位置情報サーチ）、相手が通信できないときなどに相手の周囲音声を約10秒間送信させたり（周囲音送信）できます。

（相手の機器IDの登録　P.3-5）

GPSをお使いの前に、「GPSに関する注意事項」も併せてご覧ください。（P.ii）

■ 自分の位置情報を確認する

最後に取得した自分の位置情報を確認します。
確認時に位置情報が取得できていない場合、または非表示の場合は、電源を入れてから前回取得した最終の位置情報を表示します。

1. 位置情報が取得できているか確認する
   - が点灯：位置情報取得できている状態
   - が点滅：位置情報取得できていない状態
2. [メニュー/]を押して、メニュー画面に切り替える
3. 「設定」を選択する
4. 「GPS設定」を選択する
5. 「最終位置情報」を選択する
   - [▼]/[▲]を押すと、受信日、受信時刻、高度、北緯、東経を表示されます。
   - 位置情報が取得できていないときは、「測位情報がありません」が表示されます。

■ 位置情報サーチ

通話をしなくても、GPSで相手の居場所を検索します。

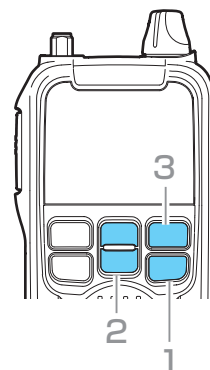
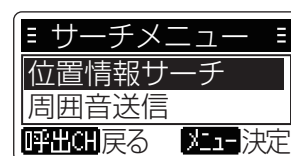
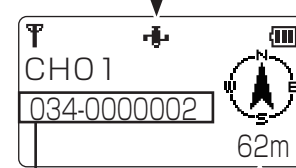
※この機能を使用するには、相手の機器IDが登録されていることと、送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。

※位置情報は、最後に取得した位置情報を使用します。この位置情報は電源を切るまで保持されます。

1. [サーチ/登録]を押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「位置情報サーチ」を選択する
3. 宛先を選択する
   - サーチを開始し、「発信」が点滅します。
   - 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
   - 応答があれば、相手の機器IDと方向と距離が表示されます。

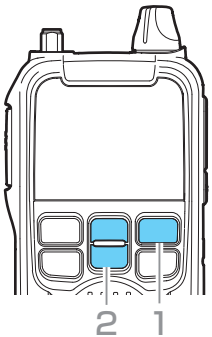
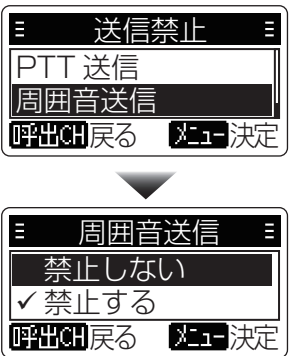
◎ご使用になる場所や建物の周辺環境、特に屋内ではGPS衛星からの信号(位置情報)を受信できない場合があります。

◎GPS信号の受信状態によっては、(位置情報取得状態)が表示されていても、距離や方向の情報が正確でない場合や、「遠い」/「近い」が表示される場合があります。
その場合は、見通しの良い屋外でGPS信号を受信しなおしてください。

◎GP-PV1Dに接続しているときは、本機の位置情報サーチ機能が使用できません。ソフト側の子機サーチ機能をご使用ください。

■ 周囲音送信

機器ＩＤが登録されている周囲音声を受信できます。
非常事態で相手が送信できない状態でも、周囲の音声を受信することで、状況把握に活用できます。
※この機能を使用するには、相手の機器IDが登録されていることと、相手の無線機で、「周囲音送信」項目が「禁止しない」に設定されている必要があります。

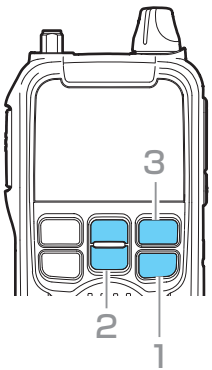
1. 相手の無線機を設定する

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「設定」を選択する
3. 「送信禁止」を選択する
4. 「周囲音送信」を選択する
5. 「禁止しない」を選択する

2. 相手の機器IDが登録されているか確認する

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「個人」を選択する
   - 機器IDが1件も登録されていない場合は、「個人」項目自体表示されません。
4. 相手の機器IDが登録されているか確認する

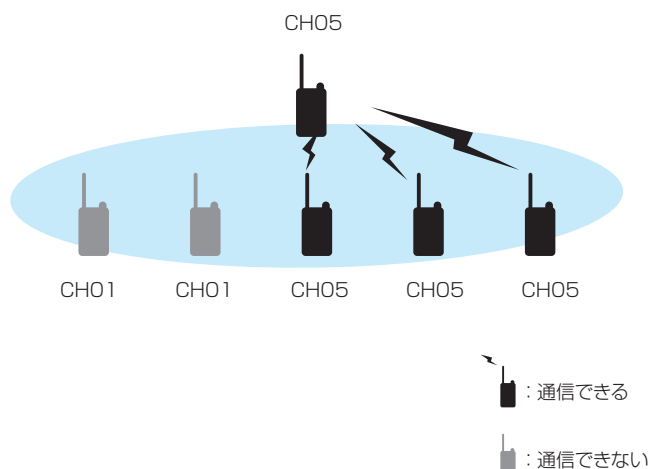
※相手の機器IDの登録（P.3-5）

3. 相手の周囲音声を受信する

1. [サーチ/登録]を押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「周囲音送信」を選択する
3. 宛先を選択する
   - 送信を開始し、「発信」が点滅します。
   - 相手の無線機から周囲音声が10秒間送信されます。
   - 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。応答中は、「着信」が点滅し、10秒間、周囲の音声を受信してから自動的に待ち受け画面に戻ります。

【メモ】
・マイクに向かって話す声よりも離れた周囲の音を拾って送信するため、音が悪かったり聞き取りにくかったりする場合がありますが、故障ではありません。
・要救助者の発見や、動物監視の利便性のために採用されている機能ですが、自分の周囲の音を他人に聞かれる恐れがあります。この機能を使うときは無線機管理者、使用者共この機能が持つ意味をよく理解して、プライバシー保護に充分留意してください。

5　緊急呼び出し

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

緊急の連絡が必要なとき、通話チャンネルが同じ相手に緊急表示と警告音で一斉に通知できます。

【警告】
緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。
ヘッドセットやイヤホンを取り付けて緊急呼び出しをする時は、予め音量ツマミを回して音量を下げてください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しができなかったり、警告音が鳴らなかったりすることがあります。

◎音量が最小に設定されている場合
◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
◎電波が相手に届かない場合

【警告】緊急呼び出し機能の精度について
本機に搭載されている緊急呼び出し機能は電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)などの環境・条件によっては、通信できないこともあります。このため高度な信頼性が必要な緊急呼び出しに使用されることを目的としていません。緊急呼び出しが機能しなかったことで発生した、いかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

【緊急呼び出しをする】

1. 緊急呼び出ししたい相手と同じ通話チャンネル番号を選択する
2. 「緊急」が表示されるまで、[呼出CH/緊急]を長く(5秒以上)押す
   - 「緊急」表示と同時に、「ピピピ･･･」と鳴り、30秒ごとに位置情報を送信します。PTTを押す必要はありません。
3. そのまま、相手からの応答を待つ
   - 緊急呼び出しを受信した無線機から応答があると、警告音が停止し、「着信」･相手の機器ID･方向･距離が表示されます。
   - 「着信」が消えると、「応答」表示に変わります。
4. 通話をつづける
   - 「応答」状態になっても、緊急呼び出しを停止するまで、「ピーピー」と鳴り、30秒ごとに位置情報を送信します。

   ※「緊急」や「応答」状態でも、通話できます。

緊急呼び出し送信表示

着信時

応答表示

【緊急呼び出しを受ける】

1. 「ピピピ･･･」と鳴り、「緊急」表示に変わる
   - 呼び出し先の機器ID、方向、距離が表示されます。
2. [PTT]を押して、応答する
   - 警告音が停止します。
3. 通話をつづける

【緊急呼び出しを止める】

下記のいずれかの操作をすると停止します。

- [呼出CH/緊急]を5秒以上長押しする
- 無線機の電源を切る
- チャンネルを変更する

応答後の表示

※送信した直後は、「応答」の表示が消えます。
この後、緊急呼び出しをした無線機から再度位置情報が送られてくると、この画面になります。

【ご注意】
キャリアセンス(P.2-2)により送信制限されている場合は、緊急呼び出しができません。

【メモ】
緊急呼び出しの送信側/受信側ともに、「緊急」や「応答」の表示中、[FM/電源]を押すとFMラジオ機能をON/OFFできますが、ONになってもラジオは聴けません。緊急呼び出しが停止すると、ラジオが聴けるようになります。

6 ＦＭラジオの受信

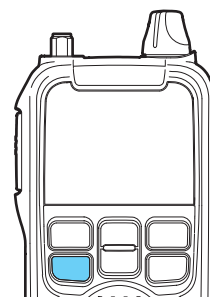
本機は、FMラジオ放送を受信できます。
放送局リストにあらかじめ各地域の放送局が登録されているほか、スキャンや手動でのチューニングもできます。
放送局を登録してからお使いください。

【ご注意】
ラジオの受信はバッテリーセーブが効かないため、電池を早く消費します。この機能は娯楽向けではなく、非常時にニュースのような重要な情報を収集することを目的に搭載しています。

■ ラジオ機能

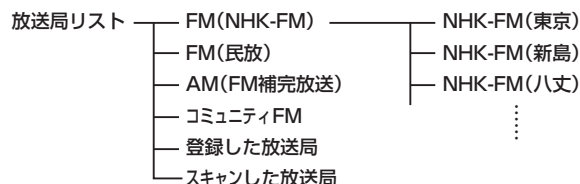
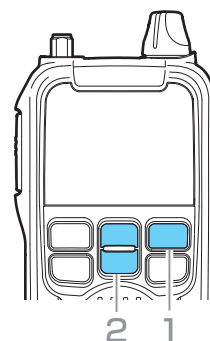
ラジオ機能をONにしておくと、[FM/電源]を押すだけでFMラジオをON/OFFできます。

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「ラジオ機能」を選択する
4. 「ON」を選択する
   - 待ち受け画面に戻ると、ラジオのアイコンが表示されます。

   ※次回から[FM/電源]を押すだけで、FMラジオをON/OFFできます。
   そのたびに「ラジオ ON」、「ラジオ OFF」が表示されます。

■ 放送局リスト

受信場所の放送局リストを選びます。

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「地域選択」を選択する
   - 地域選択画面が表示されます。
4. 地域を選択する
   - 「地域を変更しました」が表示されます。

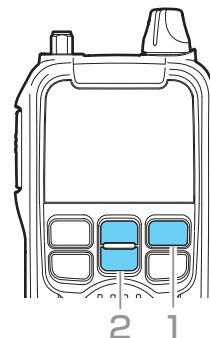
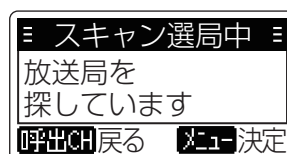
   ※放送局リストに地域の変更が反映されます。

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「放送局リスト」を選択する
   - 放送局リストが表示されます。
4. 放送局グループを選択する
5. 放送局を選択する
   - 待ち受け画面の下に選択した放送局が表示されます。

■ スキャン選局

FMラジオの周波数をスキャンして、受信した放送局リストの中から聴きたい放送局を選べます。

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「スキャン選局」を選択する
   - 「放送局を探しています」が表示され、スキャンが始まります。
   - スキャンが終わると「スキャン選局が終了しました」が表示され、放送局の一覧が表示されます。

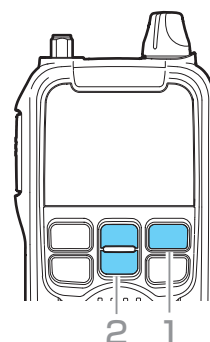
   ※放送局が見つからなかった場合は、「放送局は見つかりませんでした」が表示されます。
4. 放送局を選択する

   ※[メニュー/🔑]を押すと「リスト登録しますか？」と表示されます。[メニュー/🔑]を操作して、表示に従って「決定」を選択し、放送局の登録先（未登録）を選択します。（20件まで登録可能）
5. 放送局を呼び出す

   ※[メニュー/🔑]でFMラジオメニュー＞放送局リスト＞「スキャンした放送局」に選択した放送局がメモリーされています。受信したい局を選択します。待ち受け画面に戻って受信します。

■ 手動選局

FMラジオの周波数を手動で設定します。

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「手動選局」を選択する
   - 手動選局画面が表示されます。
4. [▼]/[▲]でラジオの周波数を設定する
5. [メニュー/🔑]を押して決定する
   - 「リスト登録しますか？」が表示されます。

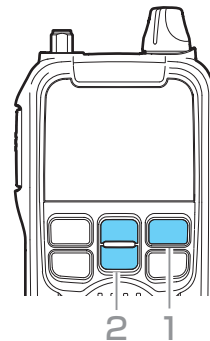
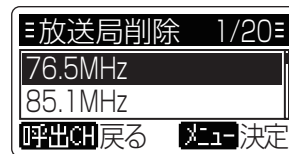
   ※登録しない場合は、「キャンセル」を選択します。
   [メニュー/🔑]を操作して、表示に従って「決定」を選択し、放送局の登録先（未登録）を選択します。（20件まで登録可能）

   前項５の「放送局を呼び出す」と同様に操作、「登録した放送局」で受信したい局を選択します。

■ 登録した放送局の削除

登録した放送局を削除します。

【メモ】

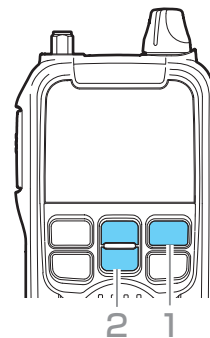
放送局リストに登録されている放送局は、削除できません。

1. [メニュー/O━]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「放送局削除」を選択する
   - 放送局削除画面が表示されます。
4. [▼]/[▲]で削除したい放送局を選択する
   - 「放送局を削除しました」が表示されます。

■ 地域選択（放送局リスト項目で説明済みです。）

FMラジオ受信する地域を選択します。

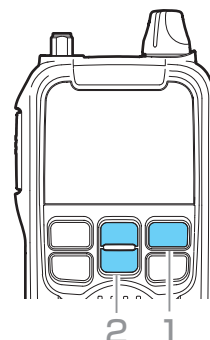
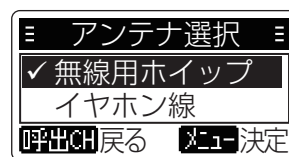
選択すると、その地域の放送局リストに変更されます。

1. [メニュー/O━]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「地域選択」を選択する
   - 地域選択画面が表示されます。
4. 地域を選択する
   - 「地域を変更しました」が表示されます。

   ※放送局リストで地域変更が反映されたか確認できます。

■ アンテナ選択

FMラジオ受信時に使用するアンテナを選択します。

無線機に接続しているアンテナか、イヤホンマイクのイヤホン線をアンテナ代わりに使うかを選びます。

1. [メニュー/O━]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「アンテナ選択」を選択する
4. アンテナを選択する
   - 無線用ホイップ：アンテナコネクターに接続されたアンテナを使う
   - イヤホン線　　：[マイク/イヤホン]ジャックに接続しているイヤホンをアンテナとして使う

決定するとＦＭラジオメニュー画面に戻ります。

「FM/電源」キーを押すとすぐに待ち受け画面に戻れます。

【メモ】

イヤホン線を選んでいても、送信時はアンテナコネクターに接続されたアンテナで送信します。ＦＭラジオ受信用の外部アンテナを接続して受信することは違法ではありませんが、技適を取得していないアンテナで送信すると違法となり、周波数が異なるので正しく電波が送信できないことから無線機の故障の原因にもなります。

7 メニュー

■ 設定項目一覧

本機には下記のようなカスタマイズができる項目があります。メニュー画面からお好みの設定に変更してください。
操作方法は次のページで説明しています。（既に説明が済んだ項目も含みます。）

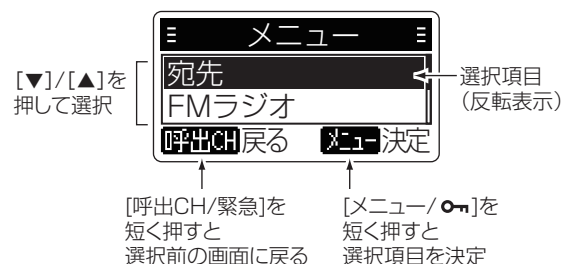
機　能	選　択　肢	初　期　値	参照
宛先	全体/グループ/個人	全体	P.3-1
FMラジオ			
ラジオ機能	OFF/ON	OFF	P.7-2
放送局リスト	—	FM（NHK-FM）	P.7-2
スキャン選局	—	—	P.7-2
手動選局	76.0MHz～95.0MHz	76.0MHz	P.7-2
放送局削除	—	—	P.7-2
地域選択	47都道府県	東京	P.7-2
アンテナ選択	無線用ホイップ/イヤホン線	無線用ホイップ	P.7-2
履歴			
音声着信履歴	—	—	P.7-3
GPS着信履歴	—	—	P.7-3
設定			
表示設定			
LCDコントラスト	0～25	17	P.7-3
バックライト	消灯/ 5秒/10秒/30秒/60秒/常灯	5秒	P.7-3
チャンネル表示	OFF/ON	ON	P.7-3
Sメーター表示	OFF/ON	OFF	P.7-3
周波数表示	OFF/ON	OFF	P.7-3
日時関連			
日時表示	—	—	P.7-3
日時設定	—	—	P.7-3
GPS時刻補正	する/しない	する	P.7-3
呼出CHスキャン	OFF/ON	OFF	P.7-4
GPS設定			
バッテリーセーブ時間	OFF（GPS 常 時ON）/5分/10分/15分/20分/オート	オート	P.7-4
未測位経過時間	OFF（GPS常時ON）/5分/10分/15分/20分	5分	P.7-4
バッテリーセーブ解除	キーで解除しない/キーで解除する	キーで解除しない	P.7-4
最終位置情報	—	—	P.7-4
マイク感度			
内部マイク	低い/少し低い/普通/少し高い/高い	普通	P.7-4
外部マイク	低い/少し低い/普通/少し高い/高い	普通	P.7-4
ビープ音			
発信開始音	OFF/ON	ON	P.7-4
着信終了音	OFF/ON	ON	P.7-4
キー操作音	OFF/ON	ON	P.7-4
送信禁止			
PTT送信	禁止しない/禁止する	禁止しない	P.7-5
周囲音送信	禁止しない/禁止する	禁止する	P.7-5
位置サーチ応答	全IDに応答/登録IDに応答	登録IDに応答	P.7-5
グループ時全体着信	する/しない	する	P.7-5
緊急動作	あり/キーロック時なし/なし	あり	P.7-5
音声受信レベル	標準/弱い	標準	P.7-5
バッテリーセーブ	OFF/ON	OFF	P.7-5
リセット	—	—	P.7-5

■ 設定方法

1. [メニュー/🔑]を押して、メニュー画面に切り替える
2. [▼]/[▲]を押して、設定項目を選択し、[メニュー/🔑]を押す
3. [▼]/[▲]を押して、設定値を選択し、[メニュー/🔑]を押す
   - 設定値が切り替わり、メニュー画面に戻ります。

   ※[呼出CH/緊急]を押すと、一つ前の画面に戻ります。
   ※ほかの機能も変更するときは、手順2と3の操作を繰り返します。メニューによっては決定したら運用画面に戻るものもあります。その項目は★で表示します。（例：宛先）

   操作をキャンセルするか、決定後に終了するには「FM/電源」キーを押します。

<メニュー画面>

■ 設定項目の内容

★宛先 （初期設定：全体）

メニュー ＞ 宛先

呼び出す宛先を設定します。
- 全体　　：すべての無線機を呼び出す
- グループ：同じグループ番号を呼び出す
- 個人　　：登録している個人（機器ID）を呼び出す

※「個人」は、相手の機器IDを登録すると表示されます。（相手の機器IDの登録：P.3-5）
※グループと個人は、UT-PV1D（プログラミングソフトウェア）で、名称を編集できます。

ラジオ機能 （初期設定：OFF）

メニュー ＞ FMラジオ ＞ ラジオ機能

ラジオ機能を設定します。
- OFF　：ラジオ機能を使わない

※[FM/電源]を押してもラジオは聞けません。
- ON　：ラジオの電源を入れる

※[FM/電源]を押すごとに、ラジオをON/OFFできます。

★放送局リスト （初期設定：FM（NHK-FM））

メニュー ＞ FMラジオ ＞ 放送局リスト

放送局一覧から聴きたい放送局を選択します。
※新規に開局した放送局はリストされていないことがあります。

スキャン選局

メニュー ＞ FMラジオ ＞ スキャン選局

FM周波数帯内をスキャンし、受信できた周波数が一覧表示されます。
※[▼]/[▲]を押して、聴きたい放送局を選択すると、放送局リストに登録できます。
放送局リストには、「スキャンした放送局」として表示されます。

★手動選局 （初期設定：76.0MHz）

メニュー ＞ FMラジオ ＞ 手動選局

[▼]/[▲]を押してFMラジオの周波数を設定します。
- 76.0MHz～95.0MHzの中から選択する（0.1MHz刻み）

※押しつづけると、周波数が早く切り替わります。
※[▼]/[▲]を押して、聴きたい放送局を選択すると、放送局リストに登録できます。
放送局リストには「登録した放送局」として表示されます。

放送局削除

メニュー ＞ FMラジオ ＞ 放送局削除

放送局リストから登録した放送局を削除します。

地域選択

メニュー ＞ FMラジオ ＞ 地域選択

FMラジオを聴く地域を47都道府県から選択できます。
※放送局リストにある「コミュニティFM」については、選択した地域の放送局が表示され、その他の放送局については、選択した地域が属するエリア（関東、東海など）の放送局が表示されます。

アンテナ選択 （初期設定：無線用ホイップ）

メニュー ＞ FMラジオ ＞ アンテナ選択

FMラジオの受信に使用するアンテナを設定します。
- 無線用ホイップ：無線機に接続されたアンテナを使用
- イヤホン線　　：[マイク/イヤホン]ジャックに接続しているイヤホンをアンテナとして使用

■ 設定項目の内容

音声着信履歴

メニュー ＞ 履歴 ＞ 音声着信履歴

一覧から、機器IDを選択し、[メニュー/🔑]を押すと、機器ID、呼び出し種別、受信日、受信時刻が表示されます。
[▼]/[▲]で、履歴内容を選択できます。
音声の着信履歴は、最大100件まで記憶できます。
※100件を超えると、古い履歴から削除されます。
※同じ相手からの着信が連続した場合、その最終履歴だけを記憶します。
※電源を切っても、履歴は消去されません。
※音声と同時に位置情報も受信した場合は、位置情報も表示されます。
※未登録の相手からの呼び出しは、その機器ＩＤを登録できます。登録後は待ち受け画面に戻ります。

GPS着信履歴

メニュー ＞ 履歴 ＞ GPS着信履歴

一覧から、機器IDを選択し、[メニュー/🔑]を押すと、機器ID、呼び出し種別、受信日、受信時刻、北緯、東経、高度、距離、方向が表示されます。
[▼]/[▲]で、履歴内容を選択できます。
位置情報を受信したときの着信履歴は、最大50件まで記憶できます。
※50件を超えると、古い履歴から削除されます。
※同じ相手からの着信が連続した場合、その最終履歴だけを記憶します。
※電源を切っても、履歴は消去されません。

LCDコントラスト　（初期設定：17）

メニュー ＞ 設定 ＞ 表示設定 ＞ LCDコントラスト

表示部のコントラスト（濃淡）を25段階で設定します。
- 選択肢　：0（淡い）～25（濃い）

バックライト　（初期設定：ON）

メニュー ＞ 設定 ＞ 表示設定 ＞ バックライト

表示部のバックライト状態を設定します。
- 消灯　：点灯しない
- 5秒　：操作時に点灯し、５秒間操作しない状態がつづくと、自動で消灯する
- 10秒　：操作時に点灯し、10秒間操作しない状態がつづくと、自動で消灯する
- 30秒　：操作時に点灯し、30秒間操作しない状態がつづくと、自動で消灯する
- 60秒　：操作時に点灯し、60秒間操作しない状態がつづくと、自動で消灯する
- 常灯　：常に点灯する

チャンネル表示　（初期設定：ON）

メニュー ＞ 設定 ＞ 表示設定 ＞ チャンネル表示

他人に通話チャンネルを見られたくないときにOFFにします。
- OFF　：5秒間操作しない状態がつづくと、自動で非表示になる
- ON　：常にチャンネル表示部を表示する

Sメーター表示　（初期設定：OFF）

メニュー ＞ 設定 ＞ 表示設定 ＞ Sメーター表示

12段階の電波強度メーターの表示を設定します。
- OFF　：メーターを表示しない
- ON　：メーターを表示する
  ※宛先表示はされません。
  ※4段階の電波強度表示はされません。

周波数表示　（初期設定：OFF）

メニュー ＞ 設定 ＞ 表示設定 ＞ 周波数表示

- OFF　：送受信周波数を表示しない。
- ON　：送受信周波数を表示する。
  ※チャンネル番号は/以降に表示されます。
  ※「着信」「発信」の表示はされません。
  ※緊急呼び出し時は周波数表示されません。

日時表示

メニュー ＞ 設定 ＞ 日時関連 ＞ 日時表示

現在の日時が表示されます。

★日時設定

メニュー ＞ 設定 ＞ 日時関連 ＞ 日時設定

次の項目のGPS時刻補正ができないときの操作です。
※[▼]/[▲]で、年を選択し、[メニュー/🔑]を押します。
同様に繰り返して、月、日、時、分、秒を設定します。

GPS時刻補正　（初期設定：する）

メニュー ＞ 設定 ＞ 日時関連 ＞ GPS時刻補正

GPS情報に含まれる時刻情報を使用して時刻を補正する機能です。
- する　：自動補正する
- しない　：自動補正しない

【ご注意】GPS時刻補正について

以下のようなときに正しい時刻日時にならないため、日時を手動で設定できるようになっています。
（手動設定後、GPSを受信すれば（：点灯）GPS時刻補正機能が正しく動作します）
- GPSが受信できない場所で新しくバッテリーをセットして使い始めたとき
- 2028年11月5日以降にリセットをしたとき
- 10年以上GPSによる測位をしなかったとき
- 日時が著しく異なっているとき

■ 設定項目の内容

呼出CHスキャン　（初期設定：OFF）

メニュー ＞ 設定 ＞ 呼出CHスキャン

別のチャンネルで待ち受けしていても、「呼出CH」で呼び出しがあるとその信号を受信します。
※「ON」に設定すると、待ち受け画面に「スキャン」が表示されます。

- OFF　：呼出CHスキャンをしない
- ON　：常に呼出CHスキャンをする

バッテリーセーブ時間　（初期設定：オート）

メニュー ＞ 設定 ＞ GPS設定 ＞ バッテリーセーブ時間

電池の消費を抑えるため、GPSをバッテリーセーブさせる時間を設定します。
※GPS未取得（ ：点滅）の状態が「未測位経過時間」つづくと、バッテリーセーブに入ります。
※バッテリーセーブ中は、 が非表示になります。

- OFF（GPS常時ON）：GPSが常に有効
- 5分　：GPSを5分間バッテリーセーブする
- 10分　：GPSを10分間バッテリーセーブする
- 15分　：GPSを15分間バッテリーセーブする
- 20分　：GPSを20分間バッテリーセーブする
- オート：設定時間が自動で切り替わる
（5分→10分→15分→20分→5分→…）

未測位経過時間　（初期設定：5分）

メニュー ＞ 設定 ＞ GPS設定 ＞ 未測位経過時間

GPS未取得（ :点滅）の状態になってから、バッテリーセーブを開始するまでの時間を設定します。
※GPSの「バッテリーセーブ時間」で設定された時間が経過すると、再度GPSがON（ ：点滅）になります。

- OFF（GPS常時ON）：GPSが常に有効
- 5分　：5分後にGPSのバッテリーセーブを開始する
- 10分　：10分後にGPSのバッテリーセーブを開始する
- 15分　：15分後にGPSのバッテリーセーブを開始する
- 20分　：20分後にGPSのバッテリーセーブを開始する

バッテリーセーブ解除　（初期設定：キーで解除しない）

メニュー ＞ 設定 ＞ GPS設定 ＞ バッテリーセーブ解除

GPSのバッテリーセーブ中、キーを押して解除させるかどうかを設定します。

- キーで解除しない：キーを押してもバッテリーセーブを解除しない
- キーで解除する　：キーを押すと、バッテリーセーブを解除する
※どのキーを押しても解除します。
※ロック機能動作中でも有効です。

※この機能は、バッテリーセーブ（ＢＳ）中に位置情報が知りたくなった時、何らかのキー操作をすることで一時的にＢＳ機能を停止させるためのものです。解除後は前項の「未即位経過時間」で設定した時間が経過すると自動的にＢＳを再開します。位置情報を得るにはＧＰＳ信号が受信できる場所に居る必要があります。

最終位置情報

メニュー ＞ 設定 ＞ GPS設定 ＞ 最終位置情報

最後に取得した位置情報が表示されます。
受信日、受信時刻、北緯、東経、高度が表示されます。

内部マイク　（初期設定：普通）

メニュー ＞ 設定 ＞ マイク感度 ＞ 内部マイク

本機のマイク感度を設定します。

- 選択肢　：低い/少し低い/普通/少し高い/高い

※感度を上げると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。

外部マイク　（初期設定：普通）

メニュー ＞ 設定 ＞ マイク感度 ＞ 外部マイク

別売品のマイクロホンを接続したときのマイク感度を設定します。

- 選択肢　：低い/少し低い/普通/少し高い/高い

※感度を上げると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。

発信開始音　（初期設定：ON）

メニュー ＞ 設定 ＞ ビープ音 ＞ 発信開始音

発信開始時のビープ音を設定します。

- OFF　：発信開始時のビープ音を鳴らさない
- ON　：発信開始時のビープ音を鳴らす

※PTTが正しく押せたことと、話し出すタイミングの目安です。ビープ音が鳴り終わってから話します。

着信終了音　（初期設定：ON）

メニュー ＞ 設定 ＞ ビープ音 ＞ 着信終了音

着信終了時のビープ音を設定します。

- OFF　：着信終了時のビープ音を鳴らさない
- ON　：着信終了時のビープ音を鳴らす

※自分の無線機でビープを鳴らすかどうか決める機能です。（自分の信号にビープ音を乗せて、相手に聞かせるかどうかを決める方式ではありません。）

キー操作音　（初期設定：ON）

メニュー ＞ 設定 ＞ ビープ音 ＞ キー操作音

キー操作時のビープ音を設定します。

- OFF　：キー操作時のビープ音を鳴らさない
- ON　：キー操作時のビープ音を鳴らす

■ 設定項目の内容

PTT送信　（初期設定：禁止しない）

メニュー ＞ 設定 ＞ 送信禁止 ＞ PTT送信

受信専用機（受令機）として使う設定です。
※送信禁止状態でも、位置情報サーチで要求された位置情報と、緊急通信の送信はできます。
- 禁止しない：送信する
- 禁止する　：送信しない
　※[PTT]を押すと「送信不可」が表示されます。

周囲音送信　（初期設定：禁止する）

メニュー ＞ 設定 ＞ 送信禁止 ＞ 周囲音送信

周囲音送信要求を許可するかどうかの設定です。
- 禁止しない：周囲の音声を送信する
- 禁止する　：周囲の音声を送信しない

位置サーチ応答　（初期設定：登録IDに応答）

メニュー ＞ 設定 ＞ 送信禁止 ＞ 位置サーチ応答

位置情報サーチに対する応答先を制限する設定です。
- 全IDに応答　：全IDに応答する
- 登録IDに応答：登録したIDだけに応答する

【重要】
IDが何も登録されていない場合は「登録IDに応答」に設定していても全IDに応答します。他人に自分の位置情報を知られたくないときは、仲間の機器IDを予め１台だけでも登録してください。これはデジコミ無線の規格に則った仕様で変更はできません。

グループ時全体着信　（初期設定：する）

メニュー ＞ 設定 ＞ グループ時全体送信

グループ通信時に全体からの着信を受信するかどうかの設定です。
- する　：全体呼び出しを受信する
- しない：全体呼び出しを受信しない

緊急動作　（初期設定：あり）

メニュー ＞ 設定 ＞ 緊急動作

緊急通信の動作を制限する設定です。
- あり　　　　　：緊急通信を動作させる
- キーロック時なし：緊急通信をキーロック時動作させない
- なし　　　　　：緊急通信を動作させない

音声受信レベル　（初期設定：標準）

メニュー ＞ 設定 ＞ 音声受信レベル

音声を受信する電波強度レベルを設定します。
- 標準：標準レベルで受信する
- 弱い：より弱い電波でも受信する
　※声が崩れたり、音になっていなくても信号の存在が分かると要救助者の発見などに有利になります。レジャーや業務用途には標準設定をおすすめします。

バッテリーセーブ　（初期設定：OFF）

メニュー ＞ 設定 ＞ バッテリーセーブ

電池の消費を抑えるため、バッテリーセーブ機能を設定します。
※「ON」に設定したときは、待ち受け状態が5秒を超えると、自動的にバッテリーセーブ機能が動作します。
※呼び出しチャンネルスキャン中は、動作しません。
※通話の頭の部分が切れる「頭切れ」を起こすことがありますが、異常ではありません。
- OFF：使用しない
- ON　：使用する

リセット

メニュー ＞ 設定 ＞ リセット

本機をリセットします。
※初期状態に戻す（リセットする）には（P.9-2）

8 オプションアクセサリー

本機を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【オプションアクセサリーについてのご注意】
弊社指定以外のオプションを接続しないでください。
誤使用が原因で生じる一切の不具合は保証の対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
指定品以外のものを本機で使えるようにする改造は有償と言えどもお断りしております。

オプションの詳細は弊社ホームページ のDJ-PV1D製品紹介ページでご覧いただけます。
オプション単体では防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。無線機本体に取り付けていない状態では濡らしたり汚したりしないでください。

付属品のスペア

EBP-180 ：Li-ionバッテリーパック
(Min：1960mAh、Typ：2020mAh)
EDC-300 ：ACアダプター
EDS-32 ：USBケーブル
EA-271 ：アンテナ(約8cm)
EBC-57 ：ベルトクリップ

イヤホンマイク

EME-21LCA：カナル型イヤホンマイク(業務用)
EME-65LMA：耳かけ型イヤホンマイク(一般用)

※業務用は強度が強く、故障しても修理ができます。一般用はライトユーザー向けで、修理ができない消耗品です。

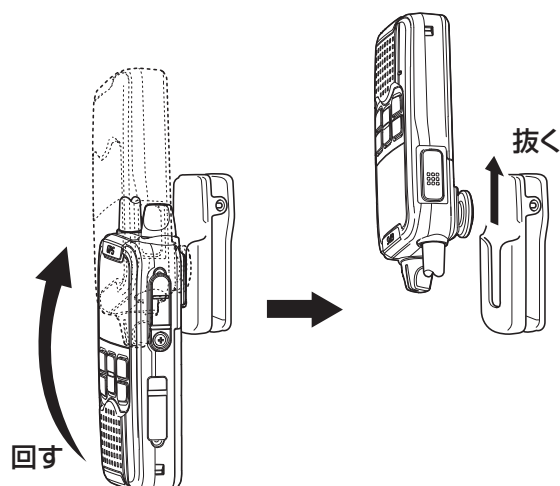
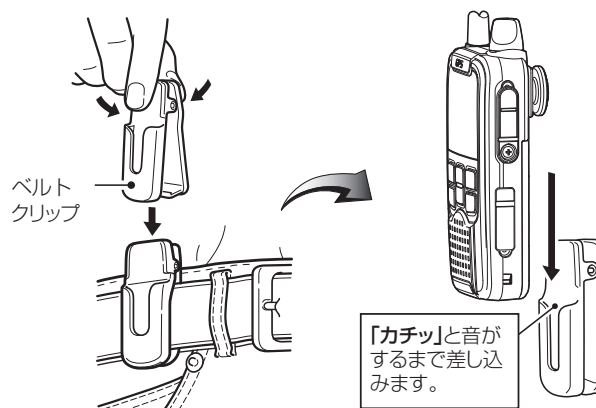
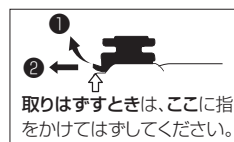
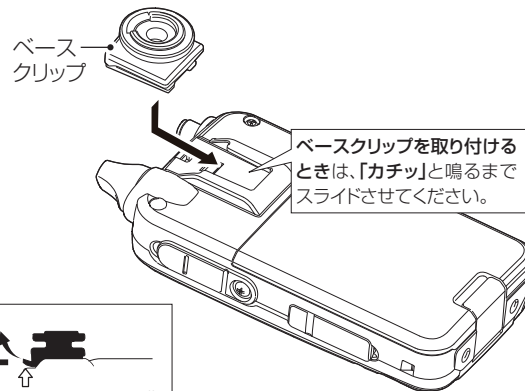
ベルトクリップ

EBC-62 ：回転式ベルトクリップ

※回転させるだけでベルトから簡単に無線機本体が取り外せます。アンテナが電波の遮蔽物である人体に密着しにくくなるので外部マイクを使った通話にも有利です。

■ イヤホンマイクを接続するには

◎ プラグを抜き差しする前に、本機の電源を切ってください。
◎ プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。
◎ 防塵/防水性能を高めるため、ジャック部分の勘合がかたくなっています。接続するときは、プラグを奥まで確実に差し込んでください。
◎ イヤホンマイクを使わないときは保護カバーを閉じてください。カバーなしで使うと外郭保護性能が発揮できず、製品保証の対象外となります。すきまがなく、しっかり閉じているか時々点検してください。

■ 回転式ベルトクリップ(EBC-62)の取り付け、取り外し

【ご注意】
ベルトクリップは体の横または背中に装着して、イヤホンマイクのケーブルも余分な長さを束ねて固定してください。かがんだときにマイクプラグやアンテナにストレスが掛かったり、ケーブル類を引っ掛けたりすると故障の原因となります。

9 お手入れとアフターサービス

■ 日常の保守と点検について

清掃の前に、必ず全ての電源を切り、電源ケーブルは抜いてください。

◎粉じんやほこりを柔らかいブラシで払ってから、軽い汚れは乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。パソコンやデジタルカメラを清掃するときに使う用具やクリーナーは本機の清掃にも同じようにお使いになれます。
洗剤や有機溶剤(シンナーやベンジン、スプレー式クリーナーなど)は絶対に使用しないでください。

◎バッテリーパックを取りはずした状態、バッテリーパック単体、充電器の清掃には、濡れた布や湿式クリーナーは使わないでください。

◎無線機本体、充電器、バッテリーパック、の各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
各端子は、乾いた清潔な綿棒などで定期的にふいてください。

◎使用される前に電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示(P.1-2)を確認してください。
オプションアクセサリーをお使いの時は、しっかり接続されているか点検してください。

◎音量ツマミの位置が適切かチェックしてください。

◎通話が安定してできる一番遠い場所を調べておき、定期的に通話ができるかチェックしておくと劣化や故障に気付きやすくなります。

■外郭保護性能の保証について

外付けアクセサリーやUSBポートのカバーを正しく使用しないと異物や水分が内部に入り故障の原因となります。明らかな製造不良による故障を除き、内部への異物混入や浸水は保証の対象外とさせて頂きます。また、正しくお使いの場合でも、防水加工に使われている素材は経年劣化します。防塵防水性能も製品と同じ保証期間とさせて頂きます。

■スペア部品について

アンテナ、ベルトクリップ、電池フタのように本体を分解しないで交換できる部品は販売店にご注文ください。分解しないと交換できない部品は法律上の理由により販売できません。販売店かサービスセンターに修理をご用命ください。

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな?と思ったら」(P.9-3)にしたがって、もう一度、本機の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店に保証書と一緒にお持ちください。保証規定にしたがって修理させていただきます。通信販売などでお持込ができないときは弊社サービスセンターが直接承ります。下記の窓口にご相談ください。サービスセンターまでの修理品の往路運賃はお客様にご負担頂いております。

保証期間後は

お買い上げの販売店、又は弊社サービスセンターにお問い合わせください。修理が可能な状態であれば、有償で修理致します。弊社では製品の生産終了後も最低５年間は必要最低限の修理ができる部品を保管していますが、天災、人災その他不可抗力の理由でこの期間内にアフターサービスのご提供を終了する場合がございます。

● **保証書について**

保証書は販売時に販売店が必要事項を記載してお渡しします。内容をご確認いただき、大切に保管してください。通販などで捺印の代わりに販売を証明するラベル、納品書、レシートなどを発行する場合が有ります。それらは必ず保証書と一緒に保管してください。
保証書は再発行できません。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**

弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサービスセンターにお問い合わせください。

アルインコ　電子サービスセンター
0120-464-007
受付(平日 10:00～12:00、13:00～17:00)
Eメールは弊社電子事業部ＨＰのお問い合わせフォームをご利用ください。
https://www.alinco.co.jp/contact/form/id=7

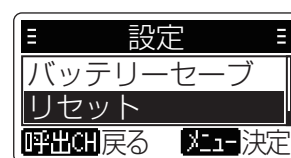
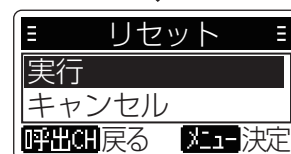
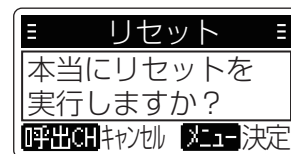
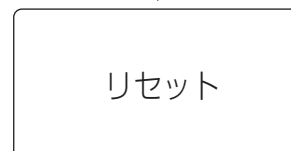
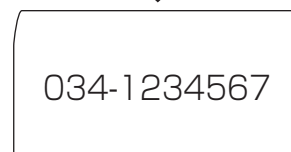
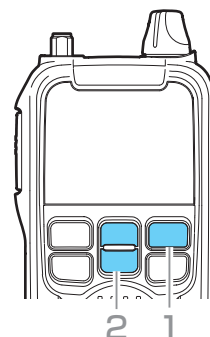
■ 初期状態に戻す(リセットする)には

操作が分からなくなったり、本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットできます。

ご注意

◎リセットすると、個人呼び出しやグループ呼び出しに必要な設定やデータが消えて正しい通話ができなくなるので、無線機の管理者に無断で初期化しないでください。リセットをする前に、登録した機器IDの情報をUT-PV1D(弊社ホームページからダウンロードできるプログラミングソフトウェア)で保存することをおすすめします。

◎初期化の前に、バッテリーパックの残量表示が[電池マーク](十分)かどうか、確認してください。
リセット後、再起動するまでのあいだは、無線機の電源を切らないでください。途中で電源が切れると、故障の原因になります。

1. [メニュー/O¬]を押して、メニュー画面に切り替える
2. 「設定」を選択する
3. 「リセット」を選択する
4. 「実行」を選択する
   - 「本当にリセットを実行しますか？」が表示されます。
5. [メニュー/O¬]を押す
   - 「リセット」が表示され、再起動します。

■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではありません。修理を依頼される前に点検してください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターセンター（P.9-1）までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	バッテリーパックの端子接触不良	バッテリーパックと本体の端子（金属部分）を清掃する	—
	バッテリーパックの消耗	バッテリーパックを充電するか、スペアに交換する	—
	バッテリーパックの過放電保護回路が動作している	バッテリーパックをスペアに交換する	P.iv
送信できない	1分間の送信時間制限が過ぎたとき	2秒以上待ってから、もう一度、送信する	P.2-2
	ほかの無線機が送信しているため、キャリアセンスが動作している	「」が消灯してから送信する（声が聞こえない混信もあります）	P.2-2
	「PTT送信」設定を「禁止する」に設定している	「PTT送信」設定を「禁止しない」に設定する	P.7-5
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に調整されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.1-1
「キーロック中」と表示される	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.2-2
充電が完了しない	無線機の電源を入れた状態で充電している	無線機の電源を切った状態で充電する	P.iv
バッテリーパックが差し込まれているのに充電ランプが消えた	バッテリーパックが正しく装着されていない	USBケーブルを挿しなおす	P.iv
充電中に、無線機の充電ランプが点灯しない	ACアダプターが正しく接続されていない	ACコンセントに正しく接続する。	P.iv
	0℃～40℃以外の環境で充電している	0℃～40℃の環境で充電する	—
	各端子（充電端子や電源端子）の接触不良	ゴミやホコリが各端子に付着していないことを確認する、清掃する	—
	十分に充電されている（満充電時）ときに充電している	バッテリーの消耗を防止するため、満充電時は、充電しません。 ※充電ランプは点灯しませんが、故障ではありません。	P.iv
通話できない（応答がない）	相手と距離がはなれすぎている	場所を移動して通話してみる	P.2-2
	相手が不在、または電源を切っている	相手の状況を確認する	—
	相手と通話チャンネルが合っていない	相手と同じ通話チャンネルに合わせる	P.2-1
周囲音送信ができない	相手の無線機で「周囲音送信」設定が初期値の「禁止する」に設定されている	相手の無線機で「周囲音送信」設定を「禁止しない」に設定する	P.7-5
	自分の無線機に相手の機器IDが登録されていない	相手の機器IDを登録する	P.3-5
「データ異常」と表示される	一時的な内部処理エラーが見つかった	電源を入れなおす	—
「使用中」と表示される	自分宛以外の呼び出しを受信している	「使用中」の表示が消えてから通話する	P.3-1
	「個人」に設定している状態で、全体、またはグループ呼び出しを受信している		

10 USBドライバーのインストール

■ インストールについて

本機とパソコンをUSBケーブルで接続し、シリアル通信をするために必要なUSBドライバーをパソコンにインストールする手順について説明します。Windows 10ではこの操作は不要ですが、ＯＳのデバイスマネージャー画面に無線機名を表示させたいときは引き続きお読みください。

◇動作環境について

◎対応OS
Windows 10 (32/64ビット)
Windows 8.1 (32/64ビット)
(Windows RTを除く)
Windows 7 (32/64ビット)
※上記OSに対応しているパソコンのすべてを動作保証するものではありません。

◎ポート
USBポート(USB1.1/USB2.0/USB3.0対応)

USBドライバーのダウンロードについて
インターネットで「アルインコ　電子　ダウンロード」を検索、「特定小電力無線」の項目で本機用のドライバーをダウンロードできます。

※弊社ホームページからダウンロードする手順は、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

◇インストールのしかた

【Windows 10の場合】
ドライバーのインストールは不要です。
パソコンのUSBポートに接続するだけでご利用いただけます。
※標準ドライバーを使用しているため、デバイスマネージャー画面に無線機名が表示されません。
無線機名を表示させたいときはUSBドライバーを手動でインストールしてください。

【Windows 8.1/Windows 7の場合】

ご注意
USBドライバーをインストールするまで、本機とパソコンをUSBケーブルで接続しないでください。
※インストールする前に接続すると、適切なUSBドライバーが認識されません。

※本書では、Windows 7を例に説明しています。

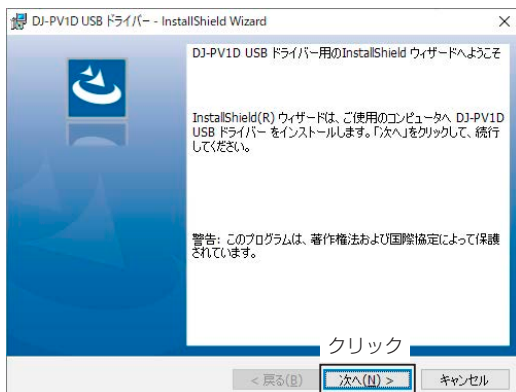
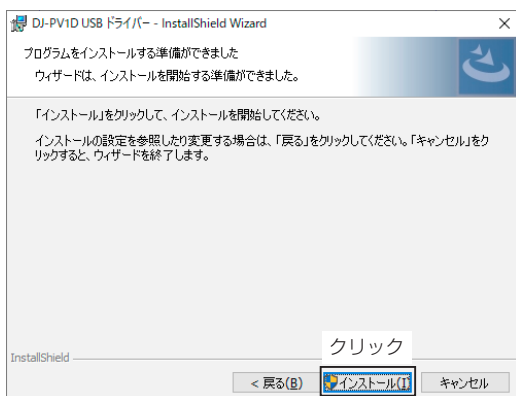
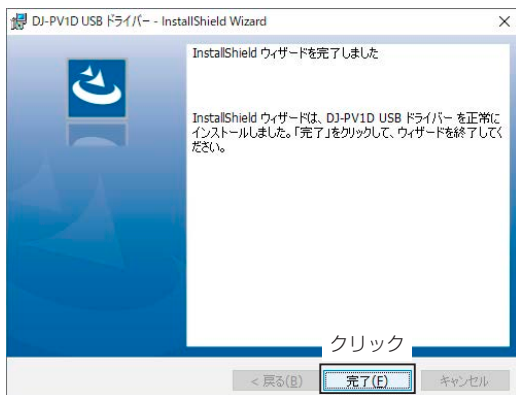
1. 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認します。
2. 管理者権限でログオンします。
   ※ほかのソフトウェアを起動しているときは、すべて終了してください。
3. 弊社ホームページよりダウンロードしたファイルを解凍後、インストーラーの保存先フォルダーを開きます。
4. お使いのパソコンのＯＳに合わせて32ビットか64ビットを選びます。「setup32または64.exe」をダブルクリックして、USBドライバーのインストーラーを起動します。

   ※「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、〈はい〉をクリックします。
   ※ご使用のパソコンで、ファイルの拡張子を表示したいときは、「エクスプローラーのオプション」の表示設定を変更してください。

（次のページへ）

■ インストールについて

◇インストールのしかた

5. 下の画面が表示されたら、〈次へ(N)＞〉をクリックします。

6. 下の画面が表示されたら、〈インストール〉をクリックします。
   ※「デバイスドライバのInstaller情報」画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。
   ※「Windows セキュリティ」画面が表示された場合は、〈インストール(I)〉をクリックします。

7. 下の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。

8. パソコンと本機をUSBケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

※ご使用のパソコンによっては、再起動の確認画面が表示されますので、画面の指示にしたがって操作してください。

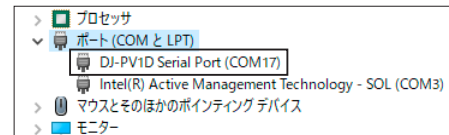
※アンインストールは、〈スタート〉→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]からできます。
Windows10では、〈スタート〉→[設定]→[アプリ]にある[アプリと機能]からできます。
Windows8.1では、デスクトップ右下→[設定]チャーム→[コントロールパネル]にある[プログラムのアンインストール]からできます。

◇COMポートの確認

本機をパソコンに接続した状態で、USBドライバーが正常にインストールされていることを確認します。

1. タスクバーのフォルダーアイコンをクリックします。
2. 下図のように、「コンピューター」を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ(R)]をクリックします。
   ※Windows 10、Windows 8.1の場合は「PC」を右クリックして、[プロパティ(R)]をクリックします。

3. 「デバイス マネージャー」をクリックします。

4. 「デバイス マネージャー」画面の[ポート(COMとLPT)]項目をダブルクリックします。
   - 下図のように表示されていれば、USBドライバーは正常にインストールされています。

   ※Windows 10で、自動認識された場合は、「USBシリアル デバイス(COM＊＊)」(例：COM17)と表示されます。

※COMポート番号は、パソコンの環境によって異なります。
※「デバイス マネージャー」画面で「!」や「×」マークが表示されている場合は、USBドライバーをアンインストール後、再インストールしてください。

11 定格

■ 無線機本体

送受信周波数範囲	142.934375～142.984375MHz 146.934375～146.984375MHz
チャンネル数	18チャンネル
電波型式	F1D/F1E
変調方式	4値FSK
使用温度範囲	−10～+50℃
電源電圧	DC3.8V(EBP-180：バッテリーパック)、DC5.0V(DC IN：[USB接続])
消費電流	送信時　600mA以下 受信時　500mA以下(外部SP　8Ω　AF最大時、非充電時)
送信出力	500mW(+20%､−50%)
低周波出力	150mW以上(8Ω､10%歪時　外部スピーカー使用時) 300mW以上(8Ω､10%歪時　内部スピーカ使用時)
アンテナインピーダンス	50Ω
受信方式	シンセサイザー発振によるダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	−3dBμVemf以下　(BER＝1×10^{-2} スタティック時) +5dBμVemf以下　(BER＝3×10^{-2} フェージング時)
外形寸法	55(W)×101.5(H)×23.4(D)mm(本体のみ、突起物を除く)
重量	約110g(付属品を除く)

■ EBP-180 バッテリーパック(付属品)

電池種類	リチウムイオン
電池容量	1960mAh Min. (2020mAh Typ.)
出力電圧	3.8V
外形寸法	45.6(W)×50.0(H)×6.9(D)mm(突起物を除く)

■ EDC-300 ACアダプター / EDS-32 USBケーブル(付属品)

入力電圧	DC 5V
使用温度範囲	0～40℃
重量	約90g(USBケーブル接続時)
外形寸法	36.5(W)×23.0(H)×36.5(D)mm
ケーブル長	1.5m

※定格･仕様･外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

■本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。

■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

■乱丁・落丁はお取り替え致します。

アルインコ株式会社　電子事業部

東京支店 〒103-0027　東京都中央区日本橋2丁目3番4号　日本橋プラザビル14階　TEL.03-3278-5888

名古屋支店 〒460-0002　名古屋市中区丸の内1丁目10番19号　サンエイビル4階　TEL.052-212-0541

大阪支店 〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号　淀屋橋ダイビル13階　TEL.06-7636-2361

福岡営業所 〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号　エコービル2階　TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル　0120　0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります

受付時間/10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日および12:00～13:00は除きます)

ホームページ　https://www.alinco.co.jp/　>事業案内>電子事業部　をご覧ください。

製品のカタログは無償で郵送します。弊社HPのお問い合わせ

フォーム、または最寄りの営業拠点にお電話でご依頼ください。

FNEM−NK